

Akita J Med 48 (Suppl) : 1, 2021

病態制御医学系

## 形態解析学・器官構造学講座

(旧解剖学第一)

教授	板東良雄
准教授	鈴木良地
非常勤講師	木山博資 (名古屋大学大学院医学系研究科・教授)
	吉田成孝 (旭川医科大学・教授)
	渡辺雅彦 (北海道大学大学院医学系研究院・教授)
	皆川洋至 (城東整形外科・副院長)
	伏見悦子 (平鹿総合病院循環器内科・診療部長)
助教	周明・明石英雄
技術専門職員(兼)	金津嘉徳

## 原著論文

## A. 審査を経た論文

- 1) Zhou, M., Ishizawa, A., Akashi, H., Suzuki, R., Kanatsu, Y., Abe, H. and Bando, Y. (2020) An anomalous case of the flexor carpi radialis with an excessive muscular bundle. *Anat. Sci. Int.*, **95**, 293-296.

## 学会発表

## A. 国際会議

1. The 4<sup>th</sup> International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science, Feb., Hiroshima, Japan

- 1) Zhou, M., Bando, Y. and Li, T.S. (2020) Radiation exposure differently change the expression of K<sub>ATP</sub> channel subunits in hepatocytes of mice

## B. 国内会議

## (a) 総会・年会

1. 第125回日本解剖学会総会・全国学術集会, 3月, 宇部 (誌上開催)
- 1) 鈴木良地, 大和田祐二, 板東良雄 (2020) パイエル板胚中心マクロファージの取り込み能

における表皮型脂肪酸結合タンパク質の機能

- 2) 古川由梨香, 鈴木良地, 板東良雄 (2020) 腎臓内における神経の走行について

## (b) 地方会

1. 第66回東北・北海道連合支部学術集会, 9月, 岩手 (web開催)
- 1) 鈴木良地, 大和田祐二, 板東良雄 (2020) 表皮型脂肪酸結合タンパク質によるパイエル板胚中心マクロファージの取り込み亢進
- 2) 周明, 明石英雄, 鈴木良地, 金津嘉徳, 石澤章光, 板東良雄 (2020) 上腕二頭筋過剰頭に関する破格症例報告
- 3) 明石英雄, 周明, 鈴木良地, 板東良雄 (2020) 高感度ヒトゲノム検出における, LNA を利用した高性能 Alu プローブの開発

## 報告書

1. 放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究課題・トライアングルプロジェクト研究結果報告集
- 1) 周明, 李桃生 (2020) 放射線誘発性肝臓組織障害における K<sub>ATP</sub> チャネル分子の役割

Akita J Med 48 (Suppl) : 3~4, 2021

病態制御医学系

## 細胞生物学講座

(旧解剖学第二)

教授	八月朔日	泰和
准教授	山崎	正和
非常勤講師	後藤	薫・阪上洋行
助教	吉川	究・鮎川友紀
再雇用技術職員	三浦	光隆
研究補助員	伊藤	潤 (7月~)

## 原著論文

## A. 審査を経た論文

- 1) Akimoto, R., Tanaka, T., Nakano, T., Hozumi, Y., Kawamae, K. and Goto, K. (2020) DGK $\zeta$  depletion attenuates HIF-1 $\alpha$  induction and SIRT1 expression, but enhances TAK1-mediated AMPK $\alpha$  phosphorylation under hypoxia. *Cell Signal.*, **26**, 109618.

## 学会発表

## B. 国内会議

## (a) 総会・年会

1. 第125回日本解剖学会総会, 3月, 山口・誌上開催

- 1) 鮎川友紀, 秋山正和, 八月朔日泰和, 山崎正和 (2020) コアグループに依存しないPCP制御機構の解析

## (c) 研究会

## (i) 全国規模

1. 国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST) 戦略的創造研究推進事業 さきがけ「多細胞システムにおける細胞間相互作用とそのダイナミクス」領域 2期生キックオフ会議, 10月, Web開催
- 1) 山崎正和 (2020) 細胞集団移動が駆動する体毛のコーミング機構の解明

2. 国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST) 戦略的創造研究推進事業 さきがけ「多細胞システムにおける細胞間相互作用とそのダイナミクス」領域 第2回領域会議, 12月, Web開催

- 1) 山崎正和 (2020) 細胞集団移動が駆動する体毛のコーミング機構の解明

3. 公益財団法人 大隈基礎科学創成財団 2020年度 第3回創発セミナー 第4期 研究助成贈呈式, 12月, 横浜・Web開催 (ハイブリッド開催)

- 1) 山崎正和 (2020) 長年バールに包まれた未知のPCP制御機構の解明

## 報告書

- 1) 八月朔日泰和 (2020) 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) 2017~2019年度「脂質性二次伝達物質リン酸化酵素の神経細胞および睪臓・副腎における形態学的機能解析」研究実績報告書

- 2) 八月朔日泰和 (2020) 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) 2017~2019年度「脂質性二次伝達物質リン酸化酵素の神経細胞および睪臓・副腎における形態学的機能解析」研究成果報告書

- 3) 鮎川友紀 (2020) 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) 2017~2019年

(4)

病態制御医学系 細胞生物学講座

度「細胞外マトリックスを介した新たな PCP  
制御機構の解明」研究実績報告書

成基金助成金 基盤研究 (C) 2017~2019 年  
度「細胞外マトリックスを介した新たな PCP

4) 鮎川友紀 (2020) 日本学術振興会学術研究助

制御機構の解明」研究成果報告書

Akita J Med 48 (Suppl) : 5, 2021

病態制御医学系

## 細胞生理学講座

(旧生理学第一)

教授 尾野 恭一  
 講師 岡本 洋介  
 技術専門職員 福田 康義  
 大学院生 高橋 貴一・福田 康義

## 総説・解説

- 1) 岡本洋介 (2020) これからの心房細動原因分子探索. *BIO Clinica* **35**(9), 86-91.
- 2) 岡本洋介 (2020) ポストゲノム時代の心房細動基礎研究. *BIO Clinica* **35**(12), 82-87.
- 3) 岡本洋介 (2020) 心房細動の発生メカニズムに関する最近の知見. *BIO Clinica* **35**(14), 1346-1350.

## 原著論文

## A. 審査を経た論文

- 1) Takagi, D., Okamoto, Y., Ohba, T., Yamamoto, H. and Ono, K. (2020) Comparative study of hyperpolarization-activated currents in pulmonary vein cardiomyocytes isolated from rat, guinea pig, and rabbit. *J. Physiol. Sci.*, **70**(1), 6.
- 2) 岡本洋介 (2020) 肺静脈におけるカテコラミン誘発性不整脈の分子基盤. *心電図 (日本不整脈心電学会誌)* **40**(3), 141-148.

## 学会発表

## A. 国内会議

## (a) 総会・年会

1. 第61回日本卵子学会学術集会, 10月, Web開催

- 1) 福田康義, 東谷美沙子, 小畑孝弘, 場崎恵太, 矢野愛美, 尾野恭一, 大場貴喜, 岡本洋介, 西島和俊, 関 信輔 (2020) 急速融解によるCryotubeを用いたラット1細胞期胚のガラス化保存

## 2. Cryopreservation Conference 2020, 11月, Web開催

- 1) 福田康義, 東谷美沙子, 小畑孝弘, 場崎恵太, 矢野愛美, 尾野恭一, 大場貴喜, 岡本洋介, 西島和俊, 関 信輔 (2020) 急速融解によるクライオチューブを用いたラット1細胞期胚ガラス化保存

## (b) 地方会

## 1. 第52回東北生理談話会, 11月, Web開催

- 1) 岡本洋介, 高木大地, 福田康義, 尾野恭一 (2020) 肺静脈の不整脈発生機構

## その他

## 特許

- 1) 尾野恭一 他 (国立大学法人秋田大学, 横手精工株式会社) 生体信号測定装置及び生体信号測定方法, 出願番号: 特願2016-056512, 公開番号: 特開2017-169647(P2017-169647A).

Akita J Med 48 (Suppl) : 7~9, 2021

病態制御医学系

## 器 官 病 態 学 講 座

(旧病理学第二)

教 授	後 藤 明 輝	
非常勤講師	提 嶋 眞 人	(市立秋田総合病院科長)
	大 橋 健 一	(~6月: 横浜市立大学大学院教授)
		(7月~: 東京医科歯科大学歯学総合研究科教授)
	杉 山 達 朗	(~3月: 秋田病理組織細胞診センター医師)
		(4月~: 雄勝中央病院臨床検査科科長)
	高 橋 正 人	(秋田厚生医療センター病理診断科科長)
	大 田 泰 徳	(東京大学医科学研究所附属病院検査部准教授)
	前 田 大 地	(大阪大学大学院医学系研究科特任教授)
講 師	吉 田 誠	(4月~)
助 教	吉 田 誠	(~3月)
	馬 越 通 信	
教育系スタッフ	伊 藤 行 信	(~5月)
大学院生(社会人)	宮 部 賢 賢	
	小 山 慧	(4月~)
技術専門職員(兼)	工 藤 幸 紹	
事務系補佐員	渡 辺 敏 美	

## 著 書

- 1) 後藤明輝 (2020) 4 病理診断 臨床・病理 肺癌取扱い規約 日本肺癌学会編, 第8版 [補訂版]. 金原出版株式会社, 東京, pp. 68-124.
- 2) 高橋正人, 増田弘毅, 伊藤行信, 吉田 誠, 後藤明輝 (2020) 透析 VAIVT 動物実験モデルを用いた動静脈吻合後の静脈狭窄・閉塞の病理, 2 巻, 株式会社アクセス・ケイ, 福岡, pp. 10-13.
- 3) 前田大地, 小山 慧 (2020) 5 章 卵巣癌 病理診断法 5 悪性腫瘍 Science and Practice 産科婦人科臨床シリーズ, 中山書店, 東京, pp. 202-209.

## 原 著 論 文

## A. 審査を経た論文

- 1) Ito, Y., Yoshida, M., Sugiyama, T., Masuda, H., Mori, M., Kimura, N., Umakoshi, M., Miyabe, K., Kudo-Asabe, Y. and Goto, A. (2020) Multiple ulcerations and perforation in the small intestine after steroid treatment in eosinophilic granulomatosis with polyangiitis: a case report and literature review. *Cardiovasc. Pathol.*, **47**, 107193. doi: 10.1016/j.carpath.2019.107193.
- 2) Umakoshi, M., Miyabe, K., Ishii, H., Kudo-Asabe, Y., Ito, Y., Yoshida, M., Maeda, D., Sageshima, M. and Goto, A. (2020) A case of Russell body gastritis with multifocal lesions. *SAGE Open Med. Case Rep.*, 2020 Jun 10 ; **8**, 2050313X

(8)

病態制御医学系 器官病態学講座

20923840. doi : 10.1177/2050313X20923840.

- 3) Tsubochi, H., Minegishi, K., Goto, A., Nakamura, R., Matsubara, D. and Dobashi, Y. (2020) EphA2, a possible target of miR-200a, functions through the AKT2 pathway in human lung carcinoma. *Int. J. Clin. Exp. Pathol.*, **13**(8), 2201-2210.
- 4) Nomura, Y., Tamura, D., Horie, M., Sato, M., Sasaki, S., Yamamoto, Y., Kudo-Asabe, Y., Umakoshi, M., Koyama, K., Makino, K., Takashima, S., Imai, K., Minamiya, Y., Munakata, S., Yachida, S., Terada, Y., Goto, A. and Maeda, D. (2020) Detection of MEAF6-PHF1 translocation in an endometrial stromal nodule. *Genes Chromosomes Cancer*, **20**. doi : 10.1002/gcc.22892.
- 5) Kito, M., Maeda, D., Kudo-Asabe, Y., Tamura, D., Makino, K., Sageshima, M., Nanjo, H., Terada, Y. and Goto, A. (2020) Detection of MED12 mutations in mesenchymal components of uterine adenomyomas. *Hum. Pathol.*, **109**, 31-36. doi : 10.1016/j.humpath.2020.11.013.
- 6) Halimi, S.A., Maeda, D., Ushiku-Shinozaki, A., Goto, A., Oda, K., Osuga, Y., Fujii, T., Ushiku, T. and Fukayama, M. (2020) Comprehensive immunohistochemical analysis of the gastrointestinal and Müllerian phenotypes of 139 ovarian mucinous cystadenomas. *Hum. Pathol.*, **109**, 21-30. doi : 10.1016/j.humpath.2020.11.011.
- 7) Koyama, K., Maeda, D., Kito, M., Tamura, D., Kudo-Asabe, Y., Katoh, H., Ishikawa, S., Nanjo, H., Terada, Y. and Goto, A. (2020) Clinicopathological and molecular analyses of linearly expanded epithelial cells with  $\beta$ -catenin alterations, “ $\beta$ -catenin signature”, in the normal fallopian tube. *Histopathology*, 2020 Dec ; **77**(6), 880-889. doi : 10.1111/his.14227.
- 8) Funaki, T., Ito, T., Tanei, Z.I., Goto, A., Niki, T., Matsubara, D. and Murakami, Y. (2020) CADM1 promotes malignant features of small-cell lung cancer by recruiting 4.1R to the plasma membrane. *Biochem. Biophys. Res. Commun.*, **534**, 172-178. doi : 10.1016/j.bbrc.2020.11.121.

## 学 会 発 表

## A. 国際会議

1. Vascular Discovery 2020 Scientific Sessions (ATVB|PVD), May, Chicago
  - 1) Ito, Y., Minerva, D., Yoshida, M., Suzuki, T. and Goto, A. (2020) The Time Change of VEGFA Concentration Gradient Leads Neovasculature to Stair-like Groth
2. JSPS Core-to-Core Program “Establishing International Research Network of Mathematical Oncology”, October, Osaka, Japan
  - 1) Ito, Y., Minerva, D., Tasaki, S., Nakamura, N., Yoshida, M., Goto, A. and Suzuki, T. (2020) The Time Change of VEGF-A Concentration gradient leads neovasculature to Stair-like Growth ; Mathematical modeling

## B. 国内会議

## (a) 総会・年会

1. 第109回日本病理学会総会, 7月, 福岡 Web開催
  - 1) 吉田 誠, 伊藤行信, 馬越通信, 宮部 賢, 浅部幸紹, 南條 博, 増田弘毅, 後藤明輝 (2020) 高度の右左シャントをともなう肺毛細血管拡張を呈した一例
  - 2) 伊藤行信, 吉田 誠, 工藤-浅部幸紹, 宮部 賢, 馬越通信, 南條 博, 増田弘毅, 後藤明輝 (2020) ウサギAVMモデルにおける遺伝子発現解析とヒト脳AVM標本との相関
  - 3) 宮部 賢, 馬越通信, 伊藤行信, 吉田 誠, 提嶋真人, 浅部幸紹, 松原 修, 前田大地, 後藤明輝 (2020) 特発性腸管膜静脈硬化症の1例
  - 4) 工藤-浅部幸紹, 前田大地, 吉田 誠, 伊藤行信, 後藤明輝 (2020) 組織型が異なる2種類の肺癌検体を用いた組織透明化技術による三次元再構成と今後の課題
  - 5) 田中正光, 伊藤 剛, 高金くらはら, 馬越通信, 後藤明輝 (2020) がんサポート線維芽細胞CEFの産生機構
  - 6) 中村暁子, 馬越通信, 浅部幸紹, 伊藤行信, 吉田 誠, 前田大地, 南條 博, 後藤明輝 (2020) 軟部肉腫における腫瘍随伴マクロファージ浸潤の臨床病理的意義
  - 7) 鈴木喬紘, 伊藤行信, 吉田 誠, 宮田 元,

馬越通信, 宮部 賢, 後藤明輝 (2020) 脊髄  
小脳変性症との鑑別を要した Gerstmann-  
Straussler-Scheinker 病の 1 剖検例

- 8) 山中遼太郎, 馬越通信, 宮部 賢, 工藤幸紹,  
伊藤行信, 吉田 誠, 後藤明輝 (2020)  
Nivolumab 投与を行った術後再発胃癌の 1 剖  
検例
2. 第 79 回日本癌学会学術集会, 10 月, 広島  
Web 開催
- 1) 伊東 剛, 永田政義, 川合剛人, 伊藤彰彦,  
後藤明輝, 松原大祐, 村上善則 (2020) 細胞  
接着分子 CADM1 の発現欠如は肺腺がんの発  
生および浸潤を促進する

#### (b) 地方会

1. 90 回日本病理学会東北支部学術集会, 2 月, 仙  
台
- 1) 宮部 賢 (2020) 乳癌化学療法後, 全切除標  
本にみられた小結節病変の 1 例

#### そ の 他

1. 秋田大学医学部医学科後援会だより, 8 月, 秋  
田
- 1) 後藤明輝 (2020) 医学教育について—新型コ  
ロナウイルスと医学科の学習および生活

Akita J Med 48 (Suppl) : 11~13, 2021

病態制御医学系

## 分子機能学・代謝機能学講座

(旧生化学第一)

教 授	久 場 敬 司
助 教	小 泉 幸 央・山 口 智 和
	安 健 博
大 学 院 生	小 澤 諒・桐 生 健 太 郎
	長 岐 雄 志 (胸部外科学講座, ~7月)
学 部 学 生	湊 隆 文
事務系スタッフ	矢 萩 理 沙

## 総説・解説

- 1) 湊 隆文, 久場敬司 (2020) 新規微生物由来酵素 B38-CAP は ACE2 活性により高血圧と心不全を改善する. 実験医学 **38**, 2371-2374.
- 2) 久場敬司, 荻澤 悟 (2020) 微生物由来の新規 ACE2 様酵素による循環器疾患症状の改善. BIOSCIENCE & INDUSTRY **78**, 512-513.

## 原著論文

## A. 審査を経た論文

- 1) Minato, T., Nirasawa, S., Sato, T., Yamaguchi, T., Hoshizaki, M., Inagaki, T., Nakahara, K., Yoshinashi, T., Ozawa, R., Yokota, S., Natsui, M., Koyota, S., Yoshiya, T., Yoshizawa-Kumagaye, K., Motoyama, S., Gotoh, T., Nakaoka, Y., Penninger, J.M., Watanabe, H., Imai, Y., Takahashi, S. and Kuba, K. (2020) B38-CAP is a bacteria-derived ACE2-like enzyme that suppresses hypertension and cardiac dysfunction. *Nat. Commun.*, **26**; 11 (1), 1058. doi : 10.1038/s41467-020-14867-z.
- 2) Nagaki, Y., Motoyama, S., Yamaguchi, T., Hoshizaki, M., Sato, Y., Sato, T., Koizumi, Y., Wakita, A., Kawakita, Y., Imai, K., Nanjo, H., Watanabe, H., Imai, Y., Minamiya, Y. and Kuba, K. (2020)

m<sup>6</sup>A demethylase ALKBH5 promotes proliferation of esophageal squamous cell carcinoma associated with poor prognosis. *Genes Cells*, **5** (8), 547-561. doi : 10.1111/gtc.12792.

- 3) Takahashi, A., Suzuki, T., Soeda, S., Takaoka, S., Kobori, S., Yamaguchi, T., Mohamed, H.M.A., Yanagiya, A., Abe, T., Shigeta, M., Furuta, Y., Kuba, K. and Yamamoto, T. (2020) The CCR4-NOT complex maintains liver homeostasis through mRNA deadenylation. *Life Sci. Alliance*, **3**(5), e201900494. doi : 10.26508/lsa.201900494.
- 4) Mostafa, D., Takahashi, A., Yanagiya, A., Yamaguchi, T., Abe, T., Kureha, T., Kuba, K., Kanegae, Y., Furuta, Y., Yamamoto, T. and Suzuki, T. (2020) Essential functions of the CNOT7/8 catalytic subunits of the CCR4-NOT complex in mRNA regulation and cell viability. *RNA Biol.*, **17**(3), 403-416. doi : 10.1080/15476286.2019.1709747.
- 5) Ogawa, M., Ishihara, T., Isobe, Y., Kato, T., Kuba, K., Imai, Y., Uchino, Y., Tsubota, K. and Arita, M. (2020) Eosinophils promote corneal wound healing via the 12/15-lipoxygenase pathway. *FASEBJ.*, **34**(9), 12492-12501. doi : 10.1096/fj.202000483R.
- 6) Nakashima, A., Takeya, M., Kuba, K., Takano, M.

(12)

病態制御医学系 分子機能学・代謝機能学講座

and Nakashima, N. (2020) Virus database annotations assist in tracing information on patients infected with emerging pathogens. *Inform Med. Unlocked.*, **21**, 100442. doi: 10.1016/j.imu.2020.100442.

#### B. 審査を経ない論文

- 1) Minato, T., Hoshizaki, M., Yamaguchi, T., An, J., Niiyama, M., Nirasawa, S., Asaka, M.N., Chan, J.F.W., Imai, M., Takahashi, S., Utsumi, D., Poon, V.K.M., Yasuhara, A., Chan, C.C.S., Motoyama, S., Nagata, S., Penninger, J.M., Kamada, H., Yuen, K.M., Kawaoka, Y., Yasutomi, Y., Imai, Y. and Kuba, K. (2020) ACE2-like carboxypeptidase B38-CAP protects from SARS-CoV-2-induced lung injury. *Research Square* (pre-print). doi: 10.21203/rs.3.rs-124634/v1.

### 学 会 発 表

#### A. 国際会議

1. NIPS International meeting, HOLISTIC UNDERSTANDING OF CARDIOVASCULAR SYSTEM BY MECHANISTIC ANALYSIS OF PHYSIOLOGICAL AND PATHOLOGICAL CONDITIONS, December, Fukuoka
- 1) Sato, T., Minato, T., Nirasawa, S., Yamaguchi, T., Watanabe, H., Imai, Y., Takahashi, S. and Kuba, K. (2020) B38-CAP is a bacteria-derived carboxypeptidase which resembles SARS-CoV-2 receptor ACE2 enzyme activity and suppresses hypertension and cardiac dysfunction in mice

#### B. 国内会議

##### (a) 総会・年会

1. 第93回 日本薬理学会年会, 3月, 横浜・紙上開催
  - 1) 山口智和, 佐藤輝紀, 湊 隆文, 安 健博, 星崎みどり, 渡邊博之, 今井由美子, 山本 雅, 久場敬司 (2020) 圧負荷心不全におけるCNOT6L 脱アデニル化因子の抗線維化作用の解明
  - 2) 安 健博, 成瀬妙子, 日野原邦彦, 副島友莉恵, 沢辺元司, 中川靖章, 桑原宏一郎, 久場敬司, 木村彰方 (2020) MRTF-A はマクロファージ機能を制御して動脈硬化形成に関わる
2. 第93回 日本生化学会大会, 9月, 横浜・web

開催

- 1) 山口智和, 佐藤輝紀, 湊 隆文, 安 健博, 星崎みどり, 渡邊博之, 今井由美子, 山本 雅, 久場敬司 (2020) 圧負荷心臓リモデリングにおけるCNOT6L 脱アデニル化因子の抗線維化作用の解析
3. 第79回 日本癌学会, 10月, 広島・web開催
  - 1) 長岐雄志, 久場敬司 (2020) m<sup>6</sup>A demethylase ALKBH5 promotes proliferation of esophageal squamous cell carcinoma associated with poor prognosis
4. 第30回 日本循環薬理学会, 11月, 秋田・web開催
  - 1) 山口智和, 湊 隆文, 佐藤輝紀, 葦澤 悟, 今井由美子, 高橋砂織, 渡邊博之, 久場敬司 (2020) 微生物由来のACE2 様酵素 B38-CAP はマウスにおける心臓リモデリングと心機能不全を改善する

##### (b) 地方会

1. 第86回 日本生化学会 東北支部例会, 5月, 誌上開催
  - 1) 山口智和, 佐藤輝紀, 湊 隆文, 安 健博, 星崎みどり, 渡邊博之, 今井由美子, 山本 雅, 久場敬司 (2020) 圧負荷心不全におけるCNOT6L 脱アデニル化因子の抗線維化作用の解明
  - 2) 安 健博, 成瀬妙子, 日野原邦彦, 副島友莉恵, 沢辺元司, 中川靖章, 桑原宏一郎, 久場敬司, 木村彰方 (2020) MRTF-A はマクロファージ機能を制御して動脈硬化形成に関わる
2. 第71回 日本薬理学会北部会, 9月, 仙台・web開催
  - 1) 山口智和, 湊 隆文, 佐藤輝紀, 葦澤 悟, 今井由美子, 高橋砂織, 渡邊博之, 久場敬司 (2020) 微生物由来のACE2 様酵素 B38-CAP はマウスにおける心臓のリモデリングと機能不全を改善する
  - 2) 安 健博, 成瀬妙子, 日野原邦彦, 副島友莉恵, 沢辺元司, 中川靖章, 桑原宏一郎, 久場敬司, 木村彰方 (2020) MRTF-A はマクロファージ機能を制御して動脈硬化形成に関わる
3. 日本農芸化学会東北支部 第155回大会, 11月, 盛岡・web開催
  - 1) 小泉幸央, 常盤野哲生, 志村洋一郎, 岩月正人, 久場敬司 (2020) 秋田県内の土壌から分離し

た微生物由来の抗菌物質の探索

(c) 研究会

(i) 全国規模

1. Cardiology Research & Clinical seminar, 12 月, 東京・web 開催

1) 久場敬司 (2020) 呼吸循環器疾患と RNA 制御因子

(ii) 地方規模

1. 基礎と臨床の立場から語る COVID-19 対策 Web セミナー, 7 月, 秋田・web 開催

1) 久場敬司 (2020) 新型コロナウイルス感染症と循環器疾患のクロストーク

報 告 書

1) 久場敬司 (2020) 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (B) 2017-2019 「RNA 制御に基づいた心機能調節の分子機構解明と心不全治療応用」: 2019 年度 実績報告書, 研究成果報告書

2) 山口智和 (2020) 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究 (B) 2018-2019 「胎児発育不全の予防を目指したユビキチン転移酵素 CNOT4 の生理機能の解明研究」: 2019 年度 実績報告書, 研究成果報告書

3) 安 健博 (2020) 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究 (B) 2018-2019 「動脈硬化病態形成機構におけるマクロファージに高発現する MKL1 遺伝子の役割」: 2019 年度 実績報告書, 研究成果報告書

そ の 他

1. 「研究科長による先端研究助成」研究成果発表会, 1 月, 秋田

1) 山口智和, 佐藤輝紀, 湊 隆文, 安 健博, 星崎みどり, 今井由美子, 山本 雅, 渡邊博之, 久場敬司 (2020) CCR4-NOT 複合体の心筋リモデリングにおける遺伝子発現制御機構の解析

2. 論文発表の記者会見, 2 月, 秋田

1) 久場敬司, 菲澤 悟, 高橋砂織, 今井由美子 (2020) 新型コロナウイルス受容体 ACE2 と同じ機能を持つ微生物酵素 B38-CAP を発見, ~白神山地の微生物が産生する酵素が医薬品応用の可能性~

3. OIST seminar, 10 月, 沖縄

1) Kuba, K. (2020) Dissecting the role of CNOT6L deadenylase in pressure overload-induced cardiac fibrosis

Akita J Med 48 (Suppl) : 15, 2021

病態制御医学系

## 生 体 防 御 学 講 座

(旧寄生虫学)

教 授	石 井	聡
非常勤講師	板 垣	匡 (岩手大学農学部教授)
	石 井	直 人 (東北大学大学院医学系研究科教授)
助 教	安 田	大 恭
技術専門職員	小 林	大 礎
事務系スタッフ	岡 崎	靖 子

## 総 説・解 説

- 1) 安田大恭, 石井 聡 (2020) リゾホスファチジン酸による血管新生の分子メカニズム. Akita J. Med. 47, 11-19.

## 学 会 発 表

## (c) 研究会

## (ii) 地方規模

1. 金沢大学シンポジウム, 1月, 金沢
  - 1) 石井 聡 (2020) 三量体 G タンパク質 Ga<sub>12/13</sub> を介したリゾホスファチジン酸 (LPA) の細胞分化制御機能
2. 令和2年度東北乳酸菌研究会, 10月, オンライン
  - 1) 石井 聡 (2020) LPA によるマスト細胞機能抑制機構の解明

Akita J Med 48 (Suppl) : 17~18, 2021

病態制御医学系

## 代謝・内分泌内科学講座

(旧老年医学)

教授	山田祐一郎 (～3月)
准教授	藤田浩樹
講師	森井 宰
助教	佐藤雄大
医員	菅沼由美
	福岡勇樹 (～9月)
	清水辰徳
	奈良光彦 (社会人大学院生)
	保泉 学 (～3月)
	山田芙久子 (社会人大学院生)
	安藤清香 (6月～)
	加藤俊祐 (社会人大学院生)
	佐藤優洋 (社会人大学院生) (～3月)
	高橋和之 (社会人大学院生) (～11月)
	大友 瞳 (社会人大学院生)
	佐々木可奈 (社会人大学院生)
	阿部咲子 (4月～)
	楠見僚太 (4月～)
	大高いずみ
	高橋侑也 (社会人大学院生)
	若林 茜 (～3月)
	外山 はな子 (4月～)
	小木田彩香
臨床心理士・ 公認心理師	戸田幸子
技術系スタッフ	藤嶋 広美・加賀谷 香代子
事務系スタッフ	高島康子 (～7月)
	坂本比佐子
	柳下晴美 (7月～2月)

## 著 書

- 1) 奈良光彦, 山田祐一郎 (2020) 血糖管理のための糖尿病治療薬活用マニュアル. DPP-4 阻害薬の使い方. 中外医学社, pp. 97-103.

## 総 説・解 説

- 1) 山田祐一郎 (2020) 高齢糖尿病患者さんの介護現場での問題点. 日本糖尿病協会 **8**(4), 5-9.
- 2) 山田祐一郎 (2020) 糖尿病治療薬による腎保護効果の可能性: GLP-1 受容体作動薬. 医事出版社 **41**(3), 4.
- 3) 大友 瞳, 福岡勇樹, 山田祐一郎 (2020) サルコペニア・フレイル. 日本臨牀社 **78**(7) (1179), 1208-1214.

## 原 著 論 文

## A. 審査を経た論文

- 1) Suganuma, Y., Shimizu, T., Sato, T., Morii, T., Fujita, H., Harada, Sassa, M. and Yamada, Y. (2020) Magnitude of slowing gastric emptying by glucagon-like peptide-1 receptor agonists determines the amelioration of postprandial glucose excursion in Japanese patients with type 2 diabetes. *J. Diabetes Investig.*, **11**(2), 389-399.
- 2) Otomo, H., Nara, M., Kato, S., Shimizu, T., Suganuma, Y., Sato, T., Morii, T., Yamada, Y. and Fujita, H. (2020) Sodium-glucose cotransporter 2 inhibition attenuates protein overload in renal proximal tubule via suppression of megalin O-GlcNacylation in progressive diabetic nephropathy. *Metabolism*, **113**, 1544405.
- 3) Sato, T., Shimizu, T., Fujita, H., Imai, Y., Drucker, D.J., Seino, Y. and Yamada, Y. (2020) GLP-1 Receptor Signaling Differentially Modifies the Outcomes of Sterile vs Viral Pulmonary Inflammation in Male Mice. *Endocrinology*, **161**(12), 1-16.

## 学 会 発 表

## B. 国内会議

## (a) 総会・年会

1. 第 63 回日本腎臓学会学術集総会, 8 月, 横浜
  - 1) 藤田浩樹 (2020) DKD 新規治療戦略としてのインクレチン関連薬への期待 (シンポジウム)

## (b) 地方会

1. 第 221 回日本内科学会東北地方会, 5 月, 秋田
  - 1) 小木田彩香, 加藤俊祐, 大友 瞳, 楠見僚太, 福岡勇樹, 菅沼由美, 佐藤雄大, 森井 宰, 藤田浩樹 (2020) クッシング症候群術後に副腎不全を呈した心不全合併の一例
  - 2) 外山はな子, 高橋和之, 大高いずみ, 阿部咲子, 清水辰徳, 佐藤雄大, 藤田浩樹 (2020) 新規超速攻型インスリンで管理し得た低血糖性片麻痺を生じた 1 型糖尿病の 1 例
2. 第 31 回日本老年医学会東北地方会, 10 月, 福島
  - 1) 山田美久子, 戸田幸子, 大友 瞳, 加藤俊祐, 福岡勇樹, 菅沼由美, 森井 宰, 藤田浩樹 (2020) GLP-1 受容体作動薬導入後に認知機能が改善した高齢 2 型糖尿病患者の一例
3. 第 58 回日本糖尿病学会東北地方会, 11 月, 仙台
  - 1) 小木田彩香, 加藤俊祐, 大友 瞳, 楠見僚太, 福岡勇樹, 菅沼由美, 佐藤雄大, 森井 宰, 藤田浩樹 (2020) フルニエ壊疽を発症した血糖管理不良の担癌糖尿病患者の一例
  - 2) 外山はな子, 高橋和之, 大高いずみ, 阿部咲子, 清水辰徳, 佐藤雄大, 森井 宰, 藤田浩樹 (2020) MRI 拡散強調画像で内包後脚に高信号域を呈する低血糖性片麻痺を生じた 1 型糖尿病の 1 例

Akita J Med 48 (Suppl) : 19~23, 2021

病態制御医学系

## 総合診療・検査診断学講座

(旧感染・免疫アレルギー・病態検査学)

教授	廣川	誠	(~2月)		
准教授	植木	重治			
非常勤講師	朝野	和典	(大阪大学医学部附属病院教授)		
	岡田	唯男	(亀田ファミリークリニック館山院長)		
	伊藤	亘	(流山東部診療所)		
	玉木	真実	(玉木デンタルクリニック)		
	面川	歩	(協和病院)		
准教授(併)	守時	由起			
医学部講師	嵯峨	知生			
医員	嵯峨	亜希子・村長		萌	
	高橋	琴乃	(~3月)		
	松本	奈津美	(4月~)		
大学院生	福地	峰世・長谷川		諒	
	渡部	健・宮部		結	
技術系補佐員	加藤	香織・丹		典子	
	見澤	里美			

## 総説・解説

- 齋藤秀和, 宮部 結, 嵯峨知生, 山田武千代, 植木重治 (2020) ETosis・細胞外トラップ (extracellular traps) と好酸球性炎症. 臨床免疫・アレルギー科 **73**(3), 336-341.
- 宮部 結, 植木重治 (2020) EETs/EEToxis. アレルギー **69**(4), 271-272.
- 宮部 結, 山本洋平, 植木重治 (2020) 好酸球の免疫における役割と消化器疾患. 消化器病学サイエンス **4**(2), 81-85.
- 福地峰世, 古谷千香子, 植木重治 (2020) 注目される Charcot-Leyden 結晶—歴史的背景と最新研究. 臨床免疫・アレルギー科 **74**(4), 394-399.
- 川村善宣, 植木重治, 福地峰世, 宮部 結, 香取幸夫 (2020) 線維素性唾液腺管炎: 好

酸球細胞外トラップによる唾液管閉塞の可能性. アレルギーの臨床 **40**(13), 35-39.

## 原著論文

## A. 審査を経た論文

- Nagase, H., Ueki, S. and Fujieda, S. (2020) The roles of IL-5 and anti-IL-5 treatment in eosinophilic diseases: asthma, eosinophilic granulomatosis with polyangiitis, and eosinophilic chronic rhinosinusitis. *Allergol. Int.*, **69**(2), 178-186.
- Nakagome, K., Shimizu, T., Bochkov, Y.A., Noguchi, T., Kobayashi, T., Soma, T., Ueki, S., Gern, J.E. and Nagata, M. (2020) Cadherin-related family member 3 upregulates the effector functions of eosinophils. *Allergy*, **75**(7), 1805-1809.

(20)

病態制御医学系 総合診療・検査診断学講座

- 3) Ueki, S., Mukherjee, M. and Nair, P. (2020) Luminal Eosinophil Cell Death as a Biomarker for Loss of Asthma Control? *Chest*, **157**(6), 1680-1681.
- 4) Kawamura, Y., Ikeda, R., Hori, T., Sasaki, T., Miyabe, Y., Fukuchi, M., Sakamoto, K., Ohta, N., Kawase, T., Katori, Y. and Ueki, S. (2020) Sialodochitis Fibrinosa: Salivary Duct Obstruction by Eosinophil Extracellular Traps? *Oral Dis.*, **26**(7), 1459-1463.
- 5) Melo, N., Wang, H., Silva, T.P., Imoto, Y., Fujieda, S., Fukuchi, M., Miyabe, Y., Hirokawa, M., Ueki, S. and Weller, P.F. (2020) Galectin-10, the protein that forms Charcot-Leyden crystals, is not stored in granules but resides in the peripheral cytoplasm of human eosinophils. *J. Leukoc. Biol.*, **108**(1), 139-149.
- 6) Hamada, S., Ueki, S., Miyabe, Y., Tsukino, M. and Hirai, T. (2020) Focal eosinophilic myositis with Charcot-Leyden crystal formation. *Allergol. Int.*, **69**(4), 633-635.
- 7) Asano, K., Ueki, S., Tamari, M., Imoto, Y., Fujieda, S. and Taniguchi, M. (2020) Adult-onset eosinophilic airway diseases. *Allergy*, **75**(12), 3087-3099.
- 8) Nogawa, H., Suzuki, H., Kawabata, Y., Ota, T., Yuki, Y., Katagiri, Y., Hino, T., Yanagawa, N. and Ueki, S. (2020) An unusual case of eosinophilic lung disease with multiple cyst formation. *Respir. Med. Case Rep.*, **31**, 101300.
- 9) Takeda, M., Ueki, S., Yamamoto, Y., Nara, M., Fukuchi, M., Nakayama, K., Omori, Y., Takahashi, N. and Hirokawa, M. (2020) Hypereosinophilic syndrome with abundant Charcot-Leyden crystals in spleen and lymph nodes. *Asia Pac. Allergy*, **10**(3), e24.
- 10) 長谷川 諒, 清水綾乃, 森 奏美, 山下鷹也, 井上 武, 小澤政豊, 茂木睦仁, 植木重治, 廣川 誠, 仁村 隆 (2020) ジアルジア症を契機に診断された, 複数病原体による旅行者下痢症. 秋田県医師会雑誌 **71**(1), 67-72.

## 学 会 発 表

## A. 国際会議

1. JSA/WAO XXVII World Allergy Congress (WAC2020) conjoint with the APAPARI 2020 Congress, Sep.-Oct., Online
  - 1) Ueki, S. (2020) Eosinophil ETosis-mediated extracellular traps and disease (Symposium)
  - 2) Yamada, T., Miyabe, Y., Saito, H., Fujieda, S. and Ueki, S. (2020) Plasma galectin-10 levels and mucosal eosinophil infiltration in chronic rhinosinusitis
  - 3) Miyabe, Y., Yano, M., Fukuchi, M., Furutani, C., Moritoki, Y., Saga, T., Takahashi, T. and Ueki, S. (2020) Eosinophil extracellular trap formation in chronic granulomatous disease
  - 4) Fukuchi, M., Kamide, Y., Ueki, S., Miyabe, Y., Furutani, C., Moritoki, Y., Saga, A., Saga, T. and Taniguchi, M. (2020) Detection of eosinophil ETosis in eosinophilic granulomatosis with polyangiitis (EGPA) by citrullinated histone H3 immunostaining
  - 5) Hashimoto, T., Ueki, S., Kamide, Y., Miyabe, Y., Yokoyama, Y., Furukawa, T., Azuma, N., Taniguchi, M., Saga, T., Hashiramoto, A. and Matsui, K. (2020) Circulating cell free DNA as a biomarker in Eosinophilic granulomatosis with polyangiitis
  - 6) Fukuchi, M., Kamide, Y., Ueki, S., Miyabe, Y., Konno, Y., Oka, N., Takeuchi, H., Saga, T., Melo, R., Weller, P. and Taniguchi, M. (2020) Loss of cytoplasmic galectin-10 in eosinophil ETosis-mediated cytolysis
  - 7) Kamide, Y., Ueki, S., Fukuchi, M., Fujita, N., Iwata, M., Nagayama, K., Nakamura, Y., Yano, K., Watai, K., Hamada, Y., Ryu, K., Hayashi, H., Fukutomi, Y., Sekiya, K., Mori, A. and Taniguchi, M. (2020) Elevated serum levels of galectin-10 in active eosinophilic granulomatosis with polyangiitis

## B. 国内会議

1. 令和元 (2019) 年度 大学病院情報マネジメント部門連絡会議, 1月, 秋田
  - 1) 植木重治, 小林則子, 嵯峨知生, 大佐賀敦, 廣川 誠 (2020) 細菌検査のデータ共有と

- ネットワークの構築,その課題(シンポジウム)
- 2) 小林則子, 富谷陽子, 植木重治, 嵯峨知生, 廣川 誠 (2020) イントロダクションにかえて: 検査部の組織横断的業務と貢献 (シンポジウム)
2. 第60回 日本呼吸器学会学術講演会, 9月, Online
    - 1) 植木重治 (2020) 好酸球と喘息—Tissue is the issue? (シンポジウム)
    - 2) 植木重治, 福地峰世, 上出庸介, 宮部 結, 竹田正秀, 嵯峨知生, 小代田宗一, 守時由起, 谷口正実, 廣川 誠 (2020) 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症における好酸球の細胞死とヒストンのシトルリン化
    - 3) 竹田正秀, 坂本 祥, 佐藤一洋, 植木重治, 宮部 結, 佐野正明, 奥田佑道, 浅野真理子, 長谷川幸保, 熊谷奈保, 廣川 誠, 中山勝敏 (2020) 慢性好酸球性肺炎 (CEP) 患者のBALFに観察された好酸球 E-Tosis
    - 4) 知花和行, 内田信彦, 中村祐介, 正和明哲, 塩原太一, 池田直哉, 堀金紀子, 新井 良, 武政聡浩, 阿久津誠, 金谷洋明, 春名眞一, 植木重治, 布村 聡, 出原賢治, 清水泰生 (2020) 抗 IL-5 治療後に施行された副鼻腔炎手術検体組織の検討
    - 5) 上出庸介, 植木重治, 藤田教寛, 岩田真紀, 永山貴紗子, 中村祐人, 渡井健太郎, 濱田祐斗, 劉 楷, 林 浩昭, 福富友馬, 関谷潔史, 森 晶夫, 福地峰世, 谷口正実 (2020) 血清中 galectin-10 は好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (EGPA) で高値を示す
  3. 第52回 日本小児感染症学会総会・学術集会, 11月, Online (大阪・Web 開催)
    - 1) 吉田美智子, 宮原瑤子, 中川 聡, 森田英明, 植木重治, 宮入 烈 (2020) インフルエンザ関連鑄型気管支炎における粘液栓形成機構の解明
  4. 第67回日本臨床検査医学会学術集会, 11月, Online (岩手・ハイブリッド開催)
    - 1) 植木重治, 福地峰世, 古谷千香子, 嵯峨知生, 小林則子, 鎌田由美子, 平澤裕之, 山本梨絵, 守時由起 (2020) 細胞外小胞 (Extracellular microvesicles) によるアレルギー性炎症の病態解析とモニタリングへの応用
    - 2) 菊池優子, 永沼綾子, 齊藤由紀子, 荒井杏子, 石山史奈, 小林則子, 植木重治 (2020) 白血球増多 (50歳代男性)
    - 3) 古谷千香子, 福地峰世, 小林則子, 山本梨絵, 植木重治, 嵯峨知生 (2020) 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症における血清 galectin-10 の評価
    - 4) 山本梨絵, 平澤裕之, 鎌田由美子, 小林則子, 嵯峨知生, 植木重治 (2020) NT-proBNP 測定試薬の基礎的検討および心不全マーカー BNP との比較検討
    - 5) 小林則子, 富谷陽子, 高橋智映, 小林敬宏, 嵯峨知生, 植木重治 (2020) 秋田大学医学部附属病院における臨床検査技師の人材確保の現状と課題
  5. 第29回国際喘息学会日本・北アジア部会, 12月, Online (栃木)
    - 1) 植木重治 (2020) シャルコー・ライデン結晶から広がる好酸球性炎症の理解 (シンポジウム)
- (b) 地方会
1. 第64回日本呼吸器学会中国・四国地方会
    - 1) 植木重治 (2020) 病理から見た好酸球性気道炎症の特徴 (シンポジウム)
- (c) 研究会
- (i) 全国規模
1. EOS の部屋 (GSK 重症喘息 Web 講演会), 1月, Online
    - 1) 植木重治 (2020) IL-5 による好酸球活性化と喘息の病態
  2. 第5回 CRESS メディカルライティングセミナー, 2月, 東京
    - 1) 植木重治 (2020) 細胞の振る舞いから疾患を理解する: 好酸球性炎症とは?
  3. 第20回お茶の水眼アレルギー研究会, 2月, 東京
    - 1) 植木重治 (2020) 好酸球はどこで何をしているか?
  4. 第48回箱根呼吸討論会, 2月, 神奈川
    - 1) 植木重治 (2020) 呼吸器疾患と Extracellular traps
  5. Airway Web, 7月, Online
    - 1) 植木重治 (2020) 好酸球性喘息—Tissue is the issue?
  6. 基礎と臨床から重症喘息治療を考える会—基礎編一, 8月, Online

(22)

病態制御医学系 総合診療・検査診断学講座

- 1) 植木重治 (2020) 好酸球性炎症とは何か?—  
気道疾患でみられる粘液栓の新たなメカニ  
ズム—
7. GSK Severe Asthma National Conference in 東京,  
11月, Online (東京)
  - 1) 植木重治 (2020) 好酸球の性質と振る舞い
8. アレルギー・好酸球研究会 2020, 11月, Online
  - 1) 竹田正秀, 坂本 祥, 植木重治, 宮部 結,  
福地峰世, 奥田佑道, 浅野真理子, 長谷川幸保,  
熊谷奈保, 泉谷有可, 滝田友里, 佐野正明,  
佐藤一洋, 中山勝敏 (2020) 慢性好酸球性肺  
炎患者の気管支肺胞洗浄液における好酸球  
ETosis の検討
- (ii) 地方規模
  1. 大仙仙北重症喘息セミナー, 3月, 大仙
    - 1) 植木重治 (2020) 好酸球性炎症疾患のあれこ  
れ
  2. Kitakyushu Severe Asthma Conference, 6月,  
Online
    - 1) 植木重治 (2020) 好酸球炎症の要点と最新の  
知見〜重症気管支喘息と粘液栓の新たなメカ  
ニズム〜
  3. 東北 Severe Asthma Symposium, 6月, Online
    - 1) 植木重治 (2020) 好酸球性炎症疾患のダイ  
バーシティ
  4. Eos virtual round table, 7月, Online
    - 1) 植木重治 (2020) Eosinophils overview —ba  
sic research perspective—
  5. 千葉気道アレルギーフォーラム, 9月, Online (千  
葉)
    - 1) 植木重治 (2020) 好酸球性炎症疾患のダイ  
バーシティ〜気道炎症の新しいメカニズム〜
  6. 喘息 Conference in Okinawa, 9月, Online (沖縄)
    - 1) 植木重治 (2020) 好酸球性炎症疾患の多様性  
から考える喘息の病態
  7. Severe Asthma フォーラム in 湘南, 9月, On  
line (神奈川県)
    - 1) 植木重治 (2020) 新たにわかってきた好酸球  
性気道炎症の特徴
  8. SCIENTIFIC EXCHANGE MEETING in Niigata  
2020, 10月, Online (新潟)
    - 1) 植木重治 (2020) 好酸球おじさんからみた気  
道内腔の好酸球と疾患
  9. 第25回 近畿血栓症研究会, 10月, Online (大  
阪)
    - 1) 植木重治 (2020) 顆粒球と細胞外トラップー  
その理解と病態への関与
  10. Morioka Asthma Symposium, 10月, Online (岩  
手)
    - 1) 植木重治 (2020) 細胞・病理からみた好酸球  
性気道炎症の特徴
  11. Scientific Exchange Meeting in Kawagoe, 10月,  
Online (東京)
    - 1) 植木重治 (2020) 好酸球愛好家からみた好酸  
球性炎症
  12. 第54回 兵庫県臨床アレルギー研究会, 10月,  
Online (兵庫)
    - 1) 植木重治 (2020) 疾患のダイバーシティから  
見直す好酸球性炎症
  13. IgE Forum in 大曲, 10月, 秋田
    - 1) 植木重治 (2020) IgE と好酸球性炎症
  14. Kawasaki Severe Asthma Symposium 2020, 10月,  
Online (神奈川県)
    - 1) 植木重治 (2020) (好酸球愛好家からみた)  
アレルギー性気道炎症の病態
  15. SANOFI Asthma Forum 2020 in EAST JAPAN,  
11月, Online
    - 1) 植木重治 (2020) 好酸球と喘息〜好酸球活性  
化までの道のり〜
  16. Web-Scientific Exchange Meeting in 相模原, 11  
月, Online (神奈川県)
    - 1) 植木重治 (2020) 好酸球性「炎症」の多様性
  17. SANOFI Asthma Forum 2020 in EAST JAPAN,  
11月, Online (秋田)
    - 1) 植木重治 (2020) 好酸球と喘息〜好酸球活性  
化までの道のり〜
  18. 神奈川県の重症喘息治療を考える会, 11月,  
Online
    - 1) 植木重治 (2020) 新たにわかってきた好酸球  
性気道炎症の特徴
  19. SCIENTIFIC EXCHANGE MEETING in TOKAI  
2020, 11月, Online
    - 1) 植木重治 (2020) 細胞から好酸球性炎症の本  
態に迫る
  20. Scientific Exchange Meeting in Nagano, 11月,  
Online
    - 1) 植木重治 (2020) 好酸球性炎症疾患の多様性  
と面白さ
  21. Severe Asthma Teams Seminar in Shimotsuke,  
12月, Online

- 1) 植木重治 (2020) 細胞・病理からみた好酸球性気道炎症

### 報 告 書

- 1) 植木重治 (2020) 第 26 回アレルギー週間報告, アレルギー **49**, 27-29.

### そ の 他

1. AMR リファレンスセンター 列島縦断 AMR 対策 事例紹介シリーズ, 1 月, Web サイト
- 1) 植木重治, 嵯峨知生, 加賀谷英彰, 佐藤智子, 高橋智映 (2020) 秋田県全体で情報や経験を共有しながら感染対策を推進 —第 2 回 AMR 対策普及啓発活動 国民啓発会議議長賞—
2. 幼児・成人好酸球性消化管疾患診療ガイドライン
  - 1) 野村伊知郎, 山田佳之, 厚生労働省好酸球性消化管疾患研究班, 植木重治 他 (2020)
3. m3 ワンポイント医療情報, Web サイト動画
  - 1) 福永興壱, 植木重治 (2020) 好酸球が喘息に悪影響を及ぼすまで～前編
4. m3 ワンポイント医療情報, Web サイト動画
  - 1) 福永興壱, 植木重治 (2020) 好酸球が喘息に

悪影響を及ぼすまで～後編

5. 宿題報告 2020 好酸球性副鼻腔炎の病態解明と新たな治療戦略
  - 1) 植木重治 (2020) 好酸球性副鼻腔炎における好酸球の細胞死. 145-151.
6. 本道通信 第 778 号, 10 月, 医学部・附属病院だより
  - 1) 植木重治 (2020) 秋田大学 PCR ラボ, 発足の経緯と現状
7. 工業系支援機関ネットワーク研修会 in 東北, 11 月, Online (宮城)
  - 1) 植木重治 (2020) 秋田県の地域連携における感染症モニタリングシステムの構築と活用
8. Eos Summit (ワークショップ), 11 月, Online (東京)
  - 1) 植木重治 (2020) 疾患と恒常性における好酸球
9. デュピクセント<sup>®</sup> (喘息) 座談会, 11 月, Online
  - 1) 植木重治 (2020) 好酸球の炎症 (脱顆粒), 血中の好酸球, IL-4/13 が好酸球に与える影響
10. 秋田異業種交流会 11 月定例会, 11 月, 秋田
  - 1) 植木重治 (2020) 新型コロナウイルス検査体制の充実に向けた「秋田大学 PCR ラボ」の設置について

Akita J Med 48 (Suppl) : 25~27, 2021

病態制御医学系

## 麻 醉 ・ 蘇 生 ・ 疼 痛 管 理 学 講 座

(旧麻酔学)

教 授	新 山 幸 俊 (2月~)
准 教 授	木 村 哲
講 師	合 谷 木 徹
助 教	安 部 恭 子・佐 藤 浩 司
	中 島 麻 衣 子・山 本 夏 子
	堀 越 雄 太 (集中治療部)
	吉 本 正 志
	小 玉 早 穂 子 (7月~)
医 員	厨 川 千 香・小 林 紗 雪
	根 本 晃・和 田 詠 子
	須 永 悟 史
	水 野 香 菜 (~3月)
	清 水 佳 甫 (~6月)
	難 波 美 妃 (~6月)
	今 野 俊 宏 (~10月)
	嵯 峨 卓 (4月~)
	佐 京 彩 郁 (4月~)
	鶴 沼 篤 (7月~)
技 術 補 佐 員	宮 原 麻 美
事 務 補 佐 員	加 賀 谷 絵 里 子・九 島 裕 子

## 著 書

- 1) 新山幸俊 (2020) 麻酔関連疾患としてのたこつぼ心筋症. 土橋和文 (編). たこつぼ心筋症のすべて. 克誠堂出版, pp. 67-71.
- 2) 新山幸俊 (2020) 29. WHO 安全な手術のためのガイドライン. 麻酔科レビュー 2020. 総合医学社, pp. 159-163.
- 3) 新山幸俊 (2020) ロボット支援下手術の麻酔. 日めくり麻酔科エビデンスアップデート ③. 克誠堂出版, pp. 97-107.
- 4) 合谷木徹 (2020) III 気道管理 気管支内視鏡を用いた挿管. 呼吸管理 2020—'21-ガイドライン, スタンダード, 論点そして私見一. 救急・集中治療 32. 総合医学社, pp. 87-98.
- 5) 合谷木徹 (2020) 高齢者の手術と認知機能障害. 内科 125, 1163-1167.
- 6) 合谷木徹 (2020) 第8章精神疾患, 41 認知症. オペナースィング 2020 年秋期増刊 基礎疾患 46 の周術期看護 チェックポイント BOOK. メディカ出版, pp. 257-261.
- 7) 合谷木徹 (2020) 第8章精神疾患, 42 うつ病・双極性障害. オペナースィング 2020 年秋期増刊 基礎疾患 46 の周術期看護 チェックポイント

(26)

病態制御医学系 麻酔・蘇生・疼痛管理学講座

BOOK. メディカ出版, pp. 262-266.

- 8) 合谷木徹 (2020) IV合併症を有する患者の術前・術後管理. 精神疾患. 術前・術後管理必携 2020. 消化器外科 **43**, 771-773.

#### 総説・解説

- 1) Kimura, T. (2020) Neutrophil-to-lymphocyte ratio: will it improve outcome prediction after stroke? *Minerva Anesthesiologica*, **86**, 901-903.
- 2) 新山幸俊 (2020) 外科医と麻酔科医は分かり合えるか? 医学のあゆみ **273**, 1182.
- 3) 新山幸俊 (2020) 専門領域以外の常識にアンテナを立てろ! ペインクリニック **41**, 985.
- 4) 新山幸俊 (2020) 悲観的に準備し, 楽観的に対処せよ. 麻酔 **69**, 1281.
- 5) 新山幸俊 (2020) 理想の教室運営. 臨床麻酔 **44**, 1037.
- 6) 新山幸俊 (2020) 秋田県における麻酔科の現状と未来. 市立秋田総合病院 らしん盤 **46**, 4.
- 7) 合谷木徹 (2020) エリスロポエチンの脳機能障害保護薬としての可能性. 臨床麻酔 **44**, 1295-1307.
- 8) 合谷木徹 (2020) 脳卒中. 別冊秋号 周術期管理, LiSA 別冊 **27**, 133-138.
- 9) 合谷木徹, 廣瀬宗孝 (2020) 「周術期管理は手術侵襲による合併症をどこまで軽減できるのか」によせて. 日本臨床麻酔学会誌 **40**, 263-263.
- 10) 合谷木徹 (2020) 周術期における身体活動量増加のためのストラテジー. 日本臨床麻酔学会誌 **40**, 376-383.
- 11) 合谷木徹 (2020) 書評「痛みのバイオマーカーとしての機能的脳画像診断法」. 臨床麻酔 **44**, 1661.
- 12) 堀越雄太, 新山幸俊 (2020) 文献抄訳「Early postoperative pain after laparoscopic donor nephrectomy predicts 30-day postoperative infectious complications: A pooled analysis of randomized controlled trials」. ペインクリニック **41**, 1521.

#### 原著論文

##### A. 審査を経た論文

- 1) Nemoto, A., Mizuno, K. and Goyagi, T. (2020) The effect of tranexamic acid administration on perioperative bleeding in patients undergoing knee or hip arthroplasty: A single-centre retrospective study. *Turk. J. Anaesthesiol. Reanim.*, **48**, 142-147.
- 2) Abe, K., Horiguchi, T., Enzan, K., Masaki, Y., Nishikawa, T. and Kimura, T. (2020) Nicorandil, a KATP Channel Opener, Attenuates Ischemia-Reperfusion Injury in Isolated Rat Lungs. *Lung* **198**, 315-321.
- 3) Sato, H., Koizumi, A., Inoue, T., Narita, S., Nara, T., Satoh, S., Saito, M., Kanda, S., Abe, K., Yamamoto, R., Numakura, K. and Habuchi, T. (2020) Acute kidney injury and its impact on renal prognosis after robot-assisted laparoscopic radical prostatectomy. *J. Med. Robot.*, **16**, 1-7.

#### 学会発表

##### A. 国際会議

1. Euroanaesthesia 2020 Meeting, November, Virtual Congress
  - 1) Nemoto, A. and Goyagi, T. (2020) Low skeletal muscle mass induces postoperative cognitive dysfunction in middle-aged rats

##### B. 国内会議

###### (a) 総会・年会

1. 日本麻酔科学会第 67 回学術集会, 6 月, WEB
  - 1) 根本 晃, 合谷木徹 (2020) 骨格筋減少は術後認知機能障害誘発させる
  - 2) 水野香菜, 佐藤浩司, 富木麻衣子, 宮原麻美 (2020) フリーラジカルスカベンジャーとアジスロマイシンの併用療法による脳保護効果について
2. 日本神経麻酔集中治学会第 24 回学術集会, 6 月, WEB
  - 1) 根本 晃, 合谷木徹 (2020) 骨格筋量減少は神経新生を抑え術後認知機能障害を誘発させる
3. 第 57 回 日本リハビリテーション学会学術集会, 8 月, 京都

- 1) 新山幸俊 (2020) 特別講演: 術後早期回復とリハビリテーション医療のためのマルチモーダル鎮痛
  3. 日本臨床麻酔学会第 40 回大会, 11 月, WEB
    - 1) 嵯峨 卓, 中島麻衣子 (2020) 脳動脈瘤クリッピング術中に冠攣縮を起こした麻酔管理の一例
    - 2) 難波美妃, 今野俊宏, 佐藤浩司, 新山幸俊 (2020) ECMO 下に気管切除を施行した麻酔管理の 2 症例
  4. 第 42 回日本呼吸療法医学会学術集会, 12 月, 京都
    - 1) 今野俊宏, 安部恭子, 新山幸俊 (2020) 成人型大理石骨病患者の緊急手術における気管挿管困難の一例
- (c) 研究会
- (ii) 地方規模
1. 山梨術後疼痛管理セミナー, 2 月, 山梨
    - 1) 新山幸俊 (2020) 特別講演: アセトアミノフェンを基盤としたマルチモーダル鎮痛
  2. 周術期管理セミナー, 2 月, 福岡

- 1) 新山幸俊 (2020) 特別講演: アセトアミノフェンを基盤としたマルチモーダル鎮痛
3. 第 72 回 秋田県整形外科医会, 10 月, 秋田
  - 1) 新山幸俊 (2020) 特別講演: 術後をエンドポイントとした周術期管理
4. 令和 2 年度秋田医学総会, 12 月, 秋田
  - 1) 新山幸俊 (2020) 教授就任特別講演: 麻酔科の矜持と現状

## そ の 他

1. 令和 2 年度厚生労働省慢性疼痛診療体制構築モデル事業, 東北地区講演会, 11 月, 仙台
  - 1) 木村 哲 (2020) 慢性の痛み: 診断と病態
2. 第 91 回 秋田大学 産婦人科学講座 (秋田) 遠隔テレビ会議 2020.08.31
  - 1) 新山幸俊 (2020) 産婦人科医療と麻酔科医
3. テルモ株式会社 WEB advisory meeting
  - 1) 新山幸俊 (2020) 秋田大学における術後痛管理の現状

Akita J Med 48 (Suppl) : 29~31, 2021

病態制御医学系

## 放射線医学講座, 放射線科

(旧放射線医学)

教授	橋本	学				
准教授	高橋	聡	(~3月)			
	石山	公	一	(4月~)		
非常勤講師	木下	俊	文・平安	名	常	一
	泉	純	一・加	藤	弘	毅
	山崎	郁	郎・戸	嶋	雅	道
	西村	竜	子			
	高橋	聡	(4月~)			
講師	安倍	明				
	石山	公	一	(~3月)		
助教	渡辺	磨	・大	谷	隆	浩
	古賀	誠	・和	田	優	貴
	松田	雅	純	菅	原	真
	高木	倫	子	(8月~)		
医員	浅野	友	之			
	高木	倫	子	(~7月)		
	戸沢	智	樹	・大	高	葵
	熊谷	聡	・笹	嶋	素	子
	奥山	枝	里	子	・島	山
	小阪	剛	(4月~)			
	石成	隆	寛	(4月~)		
	猪股	映	見	佳	(4月~)	
事務系補佐員	堀	真	奈	美		

## 総説・解説

- 1) 大谷隆浩, 高橋 聡 (2020) 頭頸部静脈解剖に基づく IVR 頭頸部静脈サンプリング 副甲状腺及び海綿静脈洞. 日本インターベンショナルラジオロジー学会誌 **35**(1), 40-50.

## 原著論文

## A. 審査を経た論文

- 1) Hanazono, A., Sanpei, Y., Kamada, S., Sato, Y., Matsuda, M., Otani, T., Sugawara, M. and Ijima, K. (2020) Tic Movement of Thyroid Cartilage as a Cause for Localized Cerebral Embolism : Mimics of Embolic Stroke of Undetermined Source with Non-Stenotic Carotid Plaque. *J.*

(30)

病態制御医学系 放射線医学講座, 放射線科

- Stroke Cerebrovasc. Disease*, **29**(11), Article number.
- 2) Koga, M., Ishiyama, K., Tozawa, T., Sasajima, M., Hatakeyama, K. and Hashimoto, M. (2020) Post-contrast acute kidney injury after catheter angiography and evaluation of risk factors. *Akita J. Med.*, **47**, 65-76.
  - 3) Harada, T., Hirose, K., Wada, Y., Sato, M., Ichise, K., Aoki, M., Kato, T., Takeda, K. and Takai, Y. (2020) YC-1 sensitizes the antitumor effects of boron neutron capture therapy in hypoxic tumor cells. *J. Radiat. Res.*, **61**(4), 524-534.
  - 4) Wada, Y. and Hashimoto, M. (2020) Modern evidence and future prospects of external radiation therapy for lung oligometastases of breast cancer. *Translational Cancer Res.*, **9**(8), 5077-5086.
  - 5) Wada, Y., Anbai, A., Takagi, N., Kumagai, S., Okuyama, E., Nanjo, H., Sato, Y., Motoyama, S. and Hashimoto, M. (2020) Outcomes of Definitive Chemoradiotherapy for Stage IVa (T4b vs. N4) Esophageal Squamous Cell Carcinoma Based on the Japanese Classification System : A Retrospective Single-Center Study 1. *Cancers (Basel)*, **13**(1), 8. doi : 10.3390/cancers 1301008.
  - 6) Tozawa, T., Inomata, E., Sasajima, M., Otaka, A., Matsuda, M. and Hashimoto, M. (2020) Preoperative embolization for spinal tumors using gelatin sponge particles with or without lipiodol. *Akita J. Med.*, **47**(3-4), 97-103.
  - 7) Sasajima, M., Ishiyama, K., Otani, T., Koga, M., Sugawara, M., Tozawa, T., Hatakeyama, K. and Hashimoto, M. (2020) Comparison of virtual unenhanced and true unenhanced attenuation values by dual-energy CT for detecting indistinct liver metastases on contrast-enhanced CT. *Akita J. Med.*, **47**(3-4), 105-111.
- 1) Matsuda, M., Ishiyama, K., Sasajima, M., Otani, T., Koga, M., Sugawara, M., Hatakeyama, K. and Hashimoto, M. (2020) Dual-energy computed tomography iodine quantitative measurements and low-kiloelectron volt monoenergetic applications improve diagnosis of small bowel obstruction
  - 2) 笹嶋素子, 石山公一, 大谷隆浩, 古賀 誠, 菅原真人, 畠山賢仁, 橋本 学 (2020) 仮想単純 CT の肝転移の検出能: 単純 CT との比較
2. 第 49 回日本 IVR 学会総会, ハイブリッド開催, 8 月, 神戸
    - 1) 高橋 聡, 大谷隆浩, 古賀 誠, 松田雅純, 笹嶋素子, 浅野友之, 高木倫子, 和田優貴, 橋本 学, 菅原正伯 (2020) 胸腰椎硬膜 / 硬膜外動静脈瘻の塞栓術の検討
    - 2) 大谷隆浩, 高橋 聡, 松田雅純, 笹嶋素子, 菅原真人, 橋本 学, 若林 茜, 清水辰徳, 伊保内綾乃, 寺田かおり (2020) 副甲状腺静脈サンプリングが有用であった甲状腺内副甲状腺腫の一例
    - 3) 戸沢智樹, 石山公一, 畠山賢仁, 熊谷 聡, 大高 葵, 松田雅純, 菅原真人, 古賀 誠, 大谷隆浩, 高橋 聡, 佐藤雄亮, 本山 悟, 橋本 学 (2020) 腋窩リンパ節穿刺によるリンパ管造影によって治癒した頸部リンパ節郭清術後リンパ漏の一例
  3. 第 33 回日本放射線腫瘍学会学術大会, WEB 開催, 10 月, 札幌
    - 1) 和田優貴, 安倍 明, 高木倫子, 熊谷 聡, 奥山枝里子, 戸沢智樹, 橋本 学 (2020) 悪性腸腰筋症候群に対する緩和放射線治療の後方視的検討
    - 2) 青木秀梨, 小久保雅樹, 唐沢克之, 和田優貴, 堤 真一, 中村聡明, 宇野 隆 (2020) アフターコロナの放射線治療における感染対策
    - 3) 高木倫子, 安倍 明, 和田優貴, 熊谷 聡, 奥山枝里子, 橋本 学 (2020) 当院の子宮頸癌 3D-IGBT の治療計画の初期経験
    - 4) 熊谷 聡, 安倍 明, 和田優貴, 畠山賢仁, 奥山枝里子, 高木倫子, 橋本 学 (2020) 前立腺癌に対する外照射併用の密封小線源永久挿入療法の初期経験
    - 5) 奥山枝里子, 安倍 明, 和田優貴, 高木倫子,

## 学 会 発 表

## B. 国内会議

## (a) 総会・年会

1. 第 79 回日本医学放射線学会総会, WEB 開催, 5 月, 東京

熊谷 聡, 畠山賢仁, 橋本 学 (2020) 頭頸部原発小細胞癌 5 症例の当院での放射線治療経験

(b) 地方会

1. 第 142 回日本医学放射線学会 北日本地方会, WEB 開催, 7 月, 旭川
- 1) 石成隆寛, 石山公一, 松田雅純, 戸沢智樹, 橋本 学, 泉 純一, 佐藤公彦, 船岡正人, 大内賢太郎, 五十嵐龍馬, 岩崎 渉 (2020) 右下腿膿瘍形成を契機に診断された上行結腸癌の一例
2. 第 143 回日本医学放射線学会 北日本地方会, WEB 開催, 11 月, 仙台
- 1) 猪股映見佳, 松田雅純, 大谷隆浩, 笹嶋素子, 畠山賢仁, 奥山枝里子, 石成隆寛, 小阪 剛, 本郷道生, 宮腰尚久, 島田洋一, 橋本 学

(2020) 救急外来で脳梗塞や大動脈解離との鑑別を要した脊髄硬膜外血腫の 2 例

(c) 研究会

(i) 全国規模

1. 第 33 回頭頸部放射線研究会, WEB 開催, 10 月, 東京
- 1) 小阪 剛, 大谷隆浩 (2020) 眼窩炎症性病変で発症した再発多発性軟骨炎の 1 例

(ii) 地方規模

1. 秋田県甲状腺腫瘍 Web セミナー, 8 月, 秋田
- 1) 和田優貴 (2020) 甲状腺癌の放射線外照射でベースメーカーチェックは必要か～ガイドラインレビュー～
2. 第 2 回秋田県放射線治療セミナー, ハイブリッド開催, 9 月, 秋田
- 1) 和田優貴 (2020) コロナ禍の放射線治療

Akita J Med 48 (Suppl) : 33~35, 2021

病態制御医学系

## 眼 科 学 講 座

(旧眼科学)

教 授	岩 瀬 剛	
准 教 授	石 川 誠 (9月31日退職, 呉羽総合病院へ)	
講 師	澤 田 有	
非 常 勤 講 師	早 川 宏 一 (秋田厚生医療センター 診療部長)	
	内 山 博 之 (医療法人うちやま眼科医院 理事長)	
	佐 藤 徳 子 (なべしま眼科クリニック 副院長)	
	岩 川 雅 哉 (南秋田眼科医院 院長)	
	安 川 力 (名古屋市立大学大学院医学研究科視覚科学 准教授)	
	兼 子 裕 規 (名古屋大学医学部 病院講師)	
助 教	太 田 悠 介 (8月31日退職, 太田眼科医院へ)	
	阿 部 早 苗 (9月1日採用)	
医 員	西 山 俊 吾・小 島 創 太	
	佐 藤 真 理 子・鎌 田 竜 馬	
	羅 英 明 (12月1日採用)	
社会人大学院生 (博士課程)	齊 藤 裕 輔 (医員兼務)	
	伊 藤 翔 平 (8月31日退職, 市立秋田総合病院へ)	
	柴 田 直 弥 (医員兼務)	
	柴 田 瞳 (医員兼務)	
	渡 辺 裕 士 (8月31日退職)	
	横 田 奈 那 子 (医員兼務)	
	守 田 真 見 (4月1日, 医員兼務)	
	芹 田 直 之 (4月1日, 医員兼務)	
研 究 生	高 橋 和 臣	
視 能 訓 練 士	安 田 節 子・佐 藤 幸 子	
	田 中 敦 子・鈴 木 あ かり	
	相 場 京 香 (4月1日採用)	
技 術 系 補 佐 員	高 関 早 苗	
事 務 系 補 佐 員	川 辺 奈 美 (6月16日採用)	
	石 橋 朱 里 (7月13日採用)	

## 著 書

- 1) 岩瀬 剛 (2020) “眼科学第3版” III-D-9 レーザースペックルフローグラフィ
- 2) 岩瀬 剛 (2020) “眼科学第3版” IV-B-4 異物
- 3) 岩瀬 剛 (2020) “眼科学第3版” IV-B-5 化学熱傷
- 4) 岩瀬 剛 (2020) “眼科学第3版” IV-B-6 熱傷および凍傷
- 5) 岩瀬 剛 (2020) “眼科救急2020” VII. 網膜硝子体 6. 水晶核落下
- 6) 岩瀬 剛 (2020) “眼科診療ビジュアルラーニング6” 黄斑部. 硝子体黄斑牽引

## 総説・解説

- 1) 岩瀬 剛 (2020) 糖尿病網膜症の病態と治療. 秋田医学 **47**(1), 1-10.

## 原 著 論 文

## A. 審査を経た論文

- 1) Kuroda, F, Iwase, T., Yamamoto, K., Ra, E. and Terasaki, H. (2020) Correlation between blood flow on optic nerve head and structural and functional changes in eyes with glaucoma. *Sci. Rep.*, **10**, 729.
- 2) Ogasawara, Y, Iwase, T., Yamamoto, K., Ra, E. and Terasaki, H. (2020) Relationship between abnormalities of photoreceptor microstructures and microvascular structures determined by optical coherence tomography angiography in eyes with branch retinal vein occlusion. *Retina*, **40**, 350-358.
- 3) Goto, K., Iwase, T., Yamamoto, K., Ra, E. and Terasaki, H. (2020) Correlations between intraretinal cystoid cavities and pre- and postoperative characteristics of eyes after closure of idiopathic macular hole. *Sci. Rep.*, **10**, 2310.
- 4) Ito, H., Ito, Y., Kataoka, K., Ueno, S., Takeuchi, J., Nakano, Y., Fujita, A., Horiguchi, E., Kaneko, H., Iwase, T. and Terasaki, H. (2020) Association Between Retinal Layer Thickness and Perfusion Status in Extramacular Areas in Diabetic

Retinopathy. *Am. J. Ophthalmol.*, **215**, 25-36.

- 5) Tomita, R., Iwase, T., Ueno, Y., Goto, K., Yamamoto, K., Ra, E. and Terasaki, H. (2020) Differences in Blood Flow Between Superior and Inferior Retinal Hemispheres. *Invest. Ophthalmol. Vis. Sci.*, **61**, 27.
- 6) Momota, A., Iwase, T., Akahori, T., Goto, K., Yamamoto, K., Ra, E. and Terasaki, H. (2020) Association between displacement and thickness of macula after vitrectomy in eyes with epiretinal membrane. *Sci. Rep.*, **10**, 13227.
- 7) Sakamoto, T., Kawano, S., Kawasaki, R., Hirakata, A., Yamashita, H., Yamamoto, S., Ishibashi, T. and members of the J-RD Registry group (2020) Japan-Retinal Detachment Registry Report I: preoperative findings in eyes with primary retinal detachment. *Jpn. J. Ophthalmol.*, **64**, 1-12.
- 8) Sawada, Y., Araie, M., Shibata, H., Murata, K., Ishikawa, M., Yoshitomi, T. and Iwase, T. (2020) Clinical Assessment of Scleral Canal Area in Glaucoma Using Spectral-Domain Optical Coherence Tomography. *Am. J. Ophthalmol.*, **216**, 28-36.

## 学 会 発 表

## A. 国際会議

1. Asia Pacific Retinal Imaging Society, August, Korea
  - 1) Iwase, T., Akahori, T., Ito, Y. and Terasaki, H. (2020) Macular displacement after vitrectomy in eyes with macular hole determined by OCT Angiography (Web 招待口演)

## B. 国内会議

## (a) 総会・年会

1. 第124回日本眼科学会総会, 4月, 東京
  - 1) 岩瀬 剛 (2020) 硝子体手術の今! ~NGE-NUITY@DATAFUSION™ と HYPERVIT™~ (ランチョンセミナー)
  - 2) 澤田 有 (2020) OCTでここまでわかる緑内障 視神経乳頭のOCT所見(教育セミナー)
  - 3) 柴田直弥, 石川 誠, 高関早苗, 渡辺裕士, 岩瀬 剛, 八月朔日泰和, 吉富健志, 和泉幸俊 (2020) ラット緑内障モデルにおける脂質代謝酵素ジアシルグリセロール・キナーゼの発現の変化 (ポスター)

- 4) 柴田 瞳, 澤田 有, 柴田直弥, 石川 誠, 吉富健志, 岩瀬 剛 (2020) 正常日本人における視神経乳頭周囲脈絡膜厚の検討 (ポスター)
  2. 第 74 回日本臨床眼科学会, 10 月, 東京
    - 1) 岩瀬 剛 (2020) チャレンジ硝子体手術 2020 果てし無き闊い網膜を切るか, 何を切ったのか (モーニングセミナー)
    - 2) 澤田 有 (2020) 近視眼における視神経乳頭の緑内障性ストレスに対する脆弱性 (シンポジウム)
    - 3) 阿部早苗, 岩瀬 剛 (2020) 正常眼の眼圧上昇時における視神経乳頭の自己調節機能の検討 (ポスター)
    - 4) 佐藤真理子, 芹田直之, 守田真見, 西山俊吾, 岩瀬 剛 (2020) 悪性リンパ腫の科学療法中にサイトメガロウイルス網膜炎を発生した一例 (ポスター)
    - 5) 横田奈那子, 澤田 有, 芹田直之, 守田真見, 岩瀬 剛 (2020) IRVAN 症候群の 2 例 (ポスター)
  3. 第 59 回日本網膜硝子体学会, 11 月, 福岡
    - 1) 岩瀬 剛 (2020) 網膜剥離の診断と治療, 網膜裂孔を見逃さない方法 (教育セミナー)
    - 2) 岩瀬 剛 (2020) LSFSG による網脈絡膜疾患の血流動態の検討 (モーニングセミナー)
    - 3) 阿部早苗, 岩瀬 剛 (2020) 糖尿病網膜症, 高血圧網膜症を伴った stargardt 病における脈絡膜厚の 4 年経過, スタルガルト病の脈絡膜継時変化 (ポスター)
    - 4) 西山俊吾, 守田真見, 芹田直之, 岩瀬 剛 (2020) 黄斑部毛細血管拡張症 (MacTel) Type 2 に合併した黄斑円孔に内境界膜翻転法を施行した 3 例の 2 年経過 (ポスター)
    - 5) 鎌田竜馬, 芹田直之, 守田真見, 岩瀬 剛 (2020) 短期間に自然治癒を認めた黄斑偽円孔型特発性黄斑上膜 (ポスター)
    - 6) 小島創太, 岩瀬 剛 (2020) 傍中心窩急性中間層黄斑症を自然発症し自然警戒した 1 例 (ポスター)
    - 7) 佐藤真理子, 西山俊吾, 岩瀬 剛 (2020) 裂孔原性網膜剥離術後における網膜外層の伸長と視力や中心窩無血管領域との関連 (ポスター)
- (b) 地方会
1. 第 50 回とやま学術講演会, 9 月, 富山 (WEB)
    - 1) 岩瀬 剛 (2020) 網膜硝子体疾患における病態の解明 (特別講演)
  2. 第 211 回宮城県眼科集談会, 10 月, 仙台 (WEB)
    - 1) 岩瀬 剛 (2020) 網膜硝子体疾患における病態の解明 (特別講演)
  3. 第 267 回眼科県眼科集談会, 12 月, 鹿児島
    - 1) 岩瀬 剛 (2020) 網膜硝子体疾患における病態の解明 (特別講演)
- (c) 研究会
- (i) 全国規模
1. ノバルティス WEB 講演会, 6 月, 東京 (WEB)
    - 1) 岩瀬 剛 (2020) 新型コロナウイルス感染拡大下における RVO 診療
  2. Otsuka Web Conference, 11 月, 秋田 (WEB)
    - 1) 岩瀬 剛 (2020) 網膜硝子体疾患における病態の解明—ムコスタ点眼液の使用経験もあわせて—
- (ii) 地方規模
1. 興和ウエブカンファレンス, 1 月, 秋田
    - 1) 岩瀬 剛 (2020) 硝子体手術と網膜構造的変化～難症例白内障を含めて～
  2. 第 12 回 山形 Visual Science 研究会, 2 月, 山形
    - 1) 岩瀬 剛 (2020) 網膜硝子体疾患における病態の解明
  3. 第 6 回南多摩 3 大学合同眼科研究会, 9 月, 立川 (WEB)
    - 1) 岩瀬 剛 (2020) 網膜硝子体疾患における病態の解明
  4. 第 1 回東京眼循環セミナー, 9 月, 東京 (WEB)
    - 1) 岩瀬 剛 (2020) LSFSG による眼血流動態の検討
  5. Akita Retina Club in Yokote, 10 月, 横手
    - 1) 岩瀬 剛 (2020) 近年の網膜硝子体疾患病態解明
  6. Retinal vascular lesion forum in AKITA, 11 月, 秋田
    - 1) 鎌田竜馬, 岩瀬 剛 (2020) プロルシズマブが有効であった AMD の症例検討

Akita J Med 48 (Suppl) : 37~42, 2021

病態制御医学系

## 精神科学講座, 精神科

(旧精神科学)

教授	三島和夫						
	新山喜嗣						(保健学科)
	伏見雅人						(保健管理センター)
准教授	太田英伸						
非常勤講師	室岡守・北島正人						
講師	増田豊						(心療センター)
	筒井幸						(~11月)
	竹島正浩						(6月~)
助教	竹島正浩						(~5月)
	細谷倫子						・今西 彩
医員	平野梨聖						・伊藤 結生
	藤原大						・馬越 秋瀬
	奥口悠紀						(~3月)
	井野志保						里 (~4月)
	小笠原正弥						(4月~)
	石塚悠						(4月~)
	石野沙弥香						(4月~)
	川北雄太						(4月~)
	佐々木直人						(4月~)
	柴田菜那						(4月~)
	横田宏治						(4~9月)
技術専門員	山田康子						
臨床心理士	渡邊真由美						
大学院生	吉沢和久						・伊藤 結生
	藤原大						・小松 宗央
	工藤瑞樹						
	小笠原正弥						(4月~)

## 著書

- 1) 三島和夫 (2020) よくある疑問にエキスパートが答える高齢者診療 Standard Collection 32. 株式会社じほう, 東京.

- 2) 三島和夫 (2020) 今日の治療指針 (私はこう治療している). 株式会社医学書院, 東京.

## 総説・解説

- 1) 竹島正浩, 綾部直子, 三島和夫 (2020) 【スマートな向精神薬の処方 How-to】睡眠薬・抗不安薬の減薬: 3 剤以上使用例からの整理. 臨床精神薬理 **23**, 147-156.
- 2) 柴田憲一, 矢野珠巨, 大川 聡, 竹島正浩, 清水宏明 (2020) 秋田県におけるてんかん診療に関する多施設アンケート調査結果. てんかん研究 **37**, 779-787.
- 3) 三島和夫 (2020) 【特集 睡眠の制御と機能】非 24 時間睡眠: 覚醒リズム障害の臨床と病態生理. 生体の科学 **71**, 54-58.
- 4) 三島和夫 (2020) 【将来の認知症医療を見据えて一診断・治療・社会的問題を問い直す一】治療 BPSD 治療を問う: 新たな視点を交えて考える 認知症の睡眠障害を昼夜の視点から診立てる. 老年精神医学雑誌 **31**, 94-100.
- 5) 小野有紀, 亀山沙恵子, 藤嶋明子, 下田勇輝, 三浦広志, 佐藤 朗, 寺田幸弘, 竹島正浩 (2020) 診療: 精神病床での入院管理を要した精神疾患合併妊娠の周産期管理の現状と問題点の検討. 産婦人科の実際 **69**, 403-409.
- 6) 三島和夫 (2020) 【ベンゾジアゼピン受容体作動薬の問題点と適正使用】向精神薬の多剤併用と長期処方に関する診療報酬改定の概要とそれに至った要因. 精神医学 **62**, 365-375.
- 7) 綾部直子, 三島和夫 (2020) 真のエンドポイントを目指した慢性不眠障害の評価—過覚醒評価尺度とその標準化. 臨床精神薬理 **23**, 507-515.
- 8) 三島和夫 (2020) 【睡眠障害の診療 update】睡眠: 覚醒障害の鑑別診断. 日本臨床 **78**, 741-749.
- 9) 三島和夫 (2020) 【特集: 高齢者の睡眠-覚醒障害を正しく診たてて安全に治療する】序文. Geriatric Medicine **58**, 373-374.
- 10) 三島和夫 (2020) 【特集: 高齢者の睡眠-覚醒障害を正しく診たてて安全に治療する】高齢者の睡眠-覚醒障害とその背景要因. Geriatric Medicine **58**, 375-379.
- 11) 高江洲義和, 三島和夫 (2020) 【増大号特集: 精神科診療のエビデンス—国内外の重要ガイドライン解説】第 12 章 睡眠障害: 睡眠薬の適正な使用・休薬ガイドライン. 精神医学 **62**, 712-718.
- 12) 三島和夫 (2020) 【特集: 睡眠薬・抗不安薬を安全に使いこなす, 効果的に減薬する】巻頭言. 睡眠医療 **14**, 135-136.
- 13) 三島和夫 (2020) 【特集: 睡眠薬・抗不安薬を安全に使いこなす, 効果的に減薬する】睡眠薬と抗不安薬の処方実態と国内的課題. 睡眠医療 **14**, 137-144.
- 14) 三島和夫 (2020) 【耳鼻咽喉科医が知っておくべき睡眠学】睡眠-覚醒障害の治療. JOHNS **36**, 805-809.
- 15) 三島和夫 (2020) 【不眠症治療を再考する】不眠診療における出口戦略ガイドライン. クリニシアン **67**, 647-655.
- 16) 三島和夫 (2020) 肢体不自由, 発達障害, 重症心身障害を抱える児童での睡眠問題とその対処. 療育 **61**, 9-21.
- 17) 三島和夫 (2020) 診断・検査: ICD-11 における睡眠-覚醒障害. 精神科臨床 Legato **6**, 87-92.
- 18) 三島和夫 (2020) 小児期における睡眠問題: 睡眠習慣および睡眠-覚醒障害. 脳と発達 **52**, S196.
- 19) 三島和夫 (2020) 【うつ病と認知症】認知症の睡眠-覚醒障害の診立てと対応. Pharma Medica **38**, 47-51.
- 20) 新山喜嗣 (2020) ドッベルゲンガーが示す同一性と時空間の形而上学. 臨床精神病理 **41**, 95-111.
- 21) 吉村道孝, 三島和夫 (2020) 行動嗜癖と睡眠障害. 日本医師会雑誌 **149**, 1030.
- 22) 三島和夫 (2020) 【プライマリーケアでよく診る精神疾患】睡眠-覚醒障害の鑑別診断. 臨床と研究 **97**, 1123-1128.
- 23) 太田英伸, 今西 彩, 三島和夫ら (2020) 【“with NEO” プレゼンツ 赤ちゃんの能力・生理・発達】胎児・新生児・乳児の睡眠発達と環境調整. with NEO **33**, 672-682.
- 24) 北村真吾, 三島和夫 (2020) ヒト体内時計と睡眠覚醒リズム: 振動システムからみた機能構造 (Differences between forced desynchrony and free-running rhythm). 時間生物学 **26**, 173
- 25) 三島和夫 (2020) 睡眠障害と認知症: 不眠症治療薬は認知症のリスクとなるか? その

益と害. *Dementia Japan* **34**, 450.

- 26) 三島和夫 (2020) 【精神疾患に併存する見逃されやすい睡眠障害】精神疾患に併存する睡眠-覚醒障害の診立て. *精神科* **37**, 396-400.
- 27) 三島和夫 (2020) 【最新臨床睡眠学 睡眠障害の基礎と臨床】総説 (基礎研究): ヒトの概日リズムと睡眠. *日本臨床* **78**, 98-104.
- 28) 三島和夫 (2020) 【最新臨床睡眠学 睡眠障害の基礎と臨床】高照度光療法. *日本臨床* **78**, 221-226.
- 29) 今西 彩 (2020) 【最新臨床睡眠学 睡眠障害の基礎と臨床】中枢性過眠症候群: 身体疾患や精神疾患に関連した過眠症について. *日本臨床* **78**, 395-399.
- 30) 三島和夫 (2020) 【最新臨床睡眠学 睡眠障害の基礎と臨床】概日リズム睡眠・覚醒障害群: 睡眠・覚醒相前進障害. *日本臨床* **78**, 434-439.
- 31) 三島和夫 (2020) 【最新臨床睡眠学 睡眠障害の基礎と臨床】概日リズム睡眠・覚醒障害群: 不規則睡眠・覚醒リズム障害. *日本臨床* **78**, 440-446.
- 32) 三島和夫 (2020) 【日常診療で遭遇する睡眠-覚醒障害】ねらい. *診断と治療* **108**, 1543.
- 33) 大森佑貴, 神林 崇 (2020) 【日常診療で遭遇する睡眠-覚醒障害】眠気を訴える患者. *診断と治療* **108**, 1573-1578.
- 34) 竹島正浩, 三島和夫 (2020) 【日常診療で遭遇する睡眠-覚醒障害】加齢に伴う睡眠問題. *診断と治療* **108**, 1627-1631.
- 35) 綾部直子, 三島和夫 (2020) 【日常診療で遭遇する睡眠-覚醒障害】睡眠習慣指導のエッセンス: 睡眠-覚醒リズム異常に対する認知行動療法的アプローチ. *診断と治療* **108**, 1647-1650.
- 36) 伊藤結生, 三島和夫 (2020) 【現代社会における不安の病理と対応】睡眠に関する不安とその対応. *精神科治療学* **35**, 1367-1372.
- 37) 高橋裕哉, 進藤 昌, 神林 崇, 竹島正浩, 三島和夫 (2020) アルツハイマー型認知症において杉の香り成分が認知機能に及ぼす影響の検討. *老年精神医学雑誌* **31** (増刊II), 196.

## 原 著 論 文

### A. 審査を経た論文

- 1) Enomoto, M., Kitamura, S., Tachimori, H., Takeshima, M. and Mishima, K. (2020) Long-term use of hypnotics: Analysis of trends and risk factors. *Gen. Hosp. Psychiatry*, **62**, 49-55.
- 2) Takeshima, M., Ishikawa, H., Umeta, Y., Kudoh, M., Umakoshi, A., Yoshizawa, K., Ito, Y., Hosoya, T., Tsutsui, K., Ohta, H. and Mishima, K. (2020) Prevalence of Asymptomatic Venous Thromboembolism in Depressive Inpatients. *Neuropsychiatr. Dis. Treat.*, **16**, 579-587.
- 3) Takeshima, M., Shimizu, T., Ishikawa, H. and Kanbayashi, T. (2020) Ramelteon for Delayed Sleep-wake Phase Disorder: A Case Report. *Clin. Psychopharmacol. Neurosci.*, **18**, 167-169.
- 4) Abe, T., Mishima, K., Kitamura, S., Hida, A., Inoue, Y., Mizuno, K., Kaida, K., Nakazaki, K., Motomura, Y., Maruo, K., Ohta, T., Furukawa, S., Dinges, D.F. and Ogata, K. (2020) Tracking intermediate performance of vigilant attention using multiple eye metrics. *Sleep*, **43**, zsz219.
- 5) Takahashi, Y., Shindo, S., Kanbayashi, T., Takeshima, M., Imanishi, A. and Mishima, K. (2020) Examination of the influence of cedar fragrance on cognitive function and behavioral and psychological symptoms of dementia in Alzheimer type dementia. *Neuropsychopharmacol. Rep.*, **40**, 10-15.
- 6) Sakurai, H., Uchida, H., Kato, M., Suzuki, T., Baba, H., Watanabe, K., Inada, K., Kikuchi, T., Katsuki, A., Kishida, I., Sugawara-Kikuchi, Y., Yasui-Furukori, N. and Medical Education Panel of the Japanese Society of Clinical Neuropsychopharmacology (2020) Pharmacological management of depression: Japanese expert consensus. *J. Affect. Disord.*, **266**, 626-632.
- 7) Miidera, H., Enomoto, M., Kitamura, S., Tachimori, H. and Mishima, K. (2020) Association Between the Use of Antidepressants and the Risk of Type 2 Diabetes: A Large, Population-Based Cohort Study in Japan. *Diabetes Care*, **43**, 885-893.
- 8) Takeshima, M., Utsumi, T., Aoki, Y., Wang, Z.,

(40)

病態制御医学系 精神科学講座, 精神科

- Suzuki, M., Okajima, I., Watanabe, N., Watanabe, K. and Takaesu, Y. (2020) Efficacy and safety of bright light therapy for manic and depressive symptoms in patients with bipolar disorder : A systematic review and meta-analysis. *Psychiatry Clin. Neurosci.*, **74**, 247-256.
- 9) Ohta, H., Oishi, Y., Hirose, T., Nakaya, S., Tsuchiya, K., Nakagawa, M., Gima, H., Kusakawa, I., Yoda, H., Sato, T., Sasaki, T., Nishida, H. and Obonai, T. (2020) Postural change for supine position does not disturb toddlers' nap. *Sci. Rep.*, **10**, 11944.
- 10) Takeshima, M., Utsumi, T., Aoki, Y., Wang, Z., Suzuki, M., Okajima, I., Watanabe, N., Watanabe, K. and Takaesu, Y. (2020) Response to 'Efficacy and safety of bright light therapy for bipolar depression'. *Psychiatry Clin. Neurosci.*, **74**, 410-411.
- 11) Yuge, K., Nagamitsu, S., Ishikawa, Y., Hamada, I., Takahashi, H., Sugioka, H., Yotsuya, O., Mishima, K., Hayashi, M. and Yamashita, Y. (2020) Long-term melatonin treatment for the sleep problems and aberrant behaviors of children with neurodevelopmental disorders. *BMC Psychiatry*, **20**, 445.
- 12) Kishi, T., Sakuma, K., Okuya, M., Matsuda, Y., Esumi, S., Hashimoto, Y., Hatano, M., Miyake, N., Miura, I., Miyahara, K., Fujita, K., Kawashima, K., Mishima, K. and Iwata, N. (2020) Recurrence of Mania or Depression Among Adult Bipolar Patients Who Continued Using Lithium : A Single-group Summary Meta-analysis of Randomized Trials. *J. Clin. Psychopharmacol.*, **40**, 468-474.
- 13) Imanishi, A., Kawazoe, T., Hamada, Y., Kumagai, T., Tsutsui, K., Sakai, N., Eto, K., Noguchi, A., Shimizu, T., Takahashi, T., Han, G., Mishima, K., Kanbayashi, T. and Kondo, H. (2020) Early detection of Niemann-pick disease type C with cataplexy and orexin levels : continuous observation with and without Miglustat. *Orphanet. J. Rare Dis.*, **15**, 269.
- 14) Kishi, T., Matsuda, Y., Sakuma, K., Okuya, M., Mishima, K. and Iwata, N. (2020) Recurrence rates in stable bipolar disorder patients after drug discontinuation v. drug maintenance : a systematic review and meta-analysis. *Psychol. Med.*, **13**, 1-9.
- 15) Ohkubo, S., Akamine, Y., Ohkubo, T., Kikuchi, Y. and Miura, M. (2020) Quantification of the Plasma Concentrations of Perampanel Using High-Performance Liquid Chromatography and Effects of the CYP3A4\*1G Polymorphism in Japanese Patients. *J. Chromatogr. Sci.*, **58**, 915-921.
- 16) Sakurai, H., Kato, M., Yasui-Furukori, N., Suzuki, T., Baba, H., Watanabe, K., Inada, K., Kishida, I., Sugawara, K., Kikuchi, Y., Kikuchi, T., Katsuki, A., Uchida, H. and Medical Education Panel of the Japanese Society of Clinical Neuropsychopharmacology (2020) Pharmacological management of bipolar disorder : Japanese expert consensus. *Bipolar. Disord.*, **22**, 822-830.

## 学 会 発 表

## B. 国内会議

## (a) 総会・年会

- 第 116 回日本精神神経学会総会, 9 月, WEB 開催
- 清水徹男 (2020) シンポジウム 地域に根差した精神保健医療早期相談・介入システムの構築—MEICIS プロジェクト: 過疎と人口減少の進む秋田県サイトからの報告
- 三島和夫 (2020) 教育講演: 精神医学に睡眠学はいかに貢献するか
- 筒井 幸, 馬越秋瀬, 柴田菜那, 奥口悠紀, 神林 崇, 田中恵子, 清水徹男, 三島和夫 (2020) シンポジウム 神経免疫学と精神医学の狭間で: 神経細胞表面抗原 (Neuronal cell surface antigens : NSAs) により生じうる病態
- 竹島正浩 (2020) シンポジウム: 精神科入院患者における静脈血栓塞栓症の有病率と血栓予防・血栓スクリーニングについて
- 細谷倫子, 神尾陽子, 北村真吾, 高橋秀俊, 竹島正浩, 太田英伸, 三島和夫 (2020) 一般児童における睡眠と情緒・行動上の問題に関する調査報告
- 赤嶺由美子, 菊池結花 (2020) シンポジウム クロザピン TDM の有用性と今後の課題: ク

ロザピン TDM の有用性

- 7) 北村真吾, 盛本 翼, 三島和夫ら (2020) Ultra High Risk 者を対象とした精神病発症予測因子の検討: 睡眠関連パラメータとサイトカインの計測
  2. 第 61 回日本児童青年精神医学会総会, 10 月, WEB 開催
    - 1) 三島和夫 (2020) 共催セミナー: 小児期の睡眠問題とその対策~神経発達症に伴う睡眠-覚醒障害を中心に~
    - 2) 太田英伸 (2020) 早産児における睡眠と精神発達
  3. 日本生理人類学会第 81 回大会, 10 月, WEB 開催
    - 1) 太田英伸, 大石芳久, 廣瀬孝子ら (2020) 乳幼児突然死症候群を予防する仰向け寝支援オンラインシステム
  4. 第 26 回日本時間生物学会学術大会, 10 月, WEB 開催
    - 1) 鷓飼基生, 肥田昌子, 北村真吾, 井上雄一, 三島和夫 (2020) Novel genetic variants for familial advanced sleep-wake phase disorder
  5. 第 56 回日本周産期・新生児医学会学術集会, 11 月, WEB 開催
    - 1) 太田英伸 (2020) ワークショップ 赤ちゃんにとって最適な NICU 環境を考える: NICU 空間を光で切り分ける
  6. 第 39 回日本認知症学会学術集会, 11 月, 愛知県
    - 1) 三島和夫 (2020) シンポジウム 睡眠障害と認知症: 不眠症治療薬は認知症のリスクとなるか? その益と害
  7. 第 33 回日本総合病院精神医学会総会, 12 月, WEB 開催
    - 1) 三島和夫 (2020) 共催セミナー: 不眠症の薬物療法の出口戦略とは何か
  8. 第 41 回日本臨床薬理学会学術総会, 12 月, 福岡県
    - 1) 藤山信弘, 高橋実央, 高橋さおり, 三浦 操, 佐々木克也, 亀岡吉弘, 三島和夫, あきた治験ネットワーク (2020) あきた治験ネットワークの 10 年間の活動実績と課題
- (b) 地方会
1. 第 74 回東北精神神経学会総会, 10 月, WEB 開催
    - 1) 小笠原正弥, 竹島正浩, 三島和夫 (2020) うつ病入院患者における静脈血栓塞栓症の有病率
    - 2) 川北雄太, 石川博康, 三島和夫ら (2020) 統合失調症様症状を契機として発見された成人もやもや病疑いの一例
    - 3) 柴田菜那, 馬越秋瀬, 竹島正浩, 石川博康, 筒井 幸, 三島和夫 (2020) 統合失調症に対する維持電気けいれん療法: 後方視的カルテ調査
- (c) 研究会
- (i) 全国規模
1. CARE (child-adult relationship enhancement), 2 月, 秋田県
    - 1) 伊東文エ, 太田英伸 (2020) CARE ワークショップ
  2. 日本ディベロップメンタルケア (DC) 研究会 Web セミナー, 11 月, WEB 開催
    - 1) 太田英伸 (2020) コロナ禍における NICU・GCU の状況と親子支援の取り組みについて
- (ii) 地方規模
1. 全県警察署長における講演会, 1 月, 秋田県
    - 1) 三島和夫 (2020) メンタルヘルスケア「警察署長(幹部)自身のメンタルヘルス」「部下職員のメンタルヘルスケア」
  2. 第 13 回精神疾患の臨床と病態生理研究会, 2 月, 富山県
    - 1) 三島和夫 (2020) 精神医学に睡眠学は如何に貢献するか
  3. 不眠症治療エキスパートオピニオンミーティング, 2 月, 宮城県
    - 1) 三島和夫 (2020) 不眠症治療の課題とデエビゴのエビデンスについて
  4. 第 11 回九州睡眠研究会, 2 月, 福岡県
    - 1) 三島和夫 (2020) 「不眠症が治るとは何か?」を抑うつと誤認から考える
  5. 第 36 回秋田県脳神経研究会, 2 月, 秋田県
    - 1) 太田英伸, 竹島正浩, 筒井 幸, 今西 彩, 石川博康, 酒井宏水, 八重樫伸生, 三島和夫 (2020) 人工血液により低酸素下で胎児脳の発達を保護する
  6. 中国・四国エリア睡眠 Web セミナー; 中四国エリア Skype 講演会, 7 月
    - 1) 三島和夫 (2020) 不眠症治療の SDM と薬物選択

(42)

病態制御医学系 精神科学講座, 精神科

7. 秋田医療安全 Web セミナー, 7月, 秋田県
  - 1) 三島和夫 (2020) 不眠症治療のSDMと薬物選択
8. 第35回茶崖精神医療フォーラム, 10月, 秋田県
  - 1) 三島和夫 (2020) 不眠症の薬物療法の出口戦略とSDM—オレキシン受容体拮抗薬の位置づけも含めて—
9. 第3回秋田県薬剤師会大館北秋田支部教育研修会不眠症診療セミナー, 10月, 秋田県
  - 1) 三島和夫 (2020) 不眠症治療薬のSDMと薬剤選択
10. 南大阪不眠症研究会, 10月, Web講演
  - 1) 三島和夫 (2020) 不眠症の薬物療法の出口戦略とSDM—オレキシン受容体拮抗薬の位置づけも含めて—
11. 秋田県子育て認知行動療法研究会, 10月, 秋田県
  - 1) 太田英伸, 馬越秋瀬, 熊谷真倫子 (2020) 子育て認知行動療法
12. 秋田不眠症 Clinical Seminar, 11月, 秋田県
  - 1) 三島和夫 (2020) 精神疾患に伴う睡眠障害治療の入口と出口戦略
13. 不眠症 Web セミナー広島, 11月, Web講演
  - 1) 三島和夫 (2020) 不眠症の薬物療法の出口戦略とSDM—DORAの位置づけも含めて—
14. 「お子様の睡眠の質」講演会, 11月, 千葉県
  - 1) 太田英伸 (2020) 乳幼児に最適な眠りのデザイン～子どもの昼寝・夜寝調査でわかってきたこと～
15. 秋田県発達障害支援者研修ならびに秋田県医師会産業医研修会, 11月, 秋田県
  - 1) 太田英伸 (2020) 発達障害の支援について～3つの立場から考えた発達障害児・者への支援～
16. 不眠症インターネット講演会, 11月, 秋田県
  - 1) 三島和夫 (2020) 知っているようで実は謎だらけの不眠症という病気
17. 秋田県学校保健・学校医研究会並びに学校精神保健研修会, 12月, 秋田県
  - 1) 太田英伸 (2020) こどもの睡眠

Akita J Med 48 (Suppl) : 43, 2021

病態制御医学系

## 微生物学講座

(旧微生物学)

教授	海老原	敬
非常勤講師	谷内	一郎 (理化学研究所 IMS 免疫転写制御チーム)
助教	高須賀	俊輔
	立松	恵 (8月～)
技術専門職員	瀧向	茜
大学院生	山形	建基 (小児外科学)
	山田	俊樹 (耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)

## 総説・解説

- 1) Ebihara, T. (2020) Dichotomous Regulation of Acquired Immunity by Innate Lymphoid Cells. *Cells*, **9**, 1193.
- 2) Ebihara, T., Tatematsu, M., Fuchimukai, A., Yamada, T., Yamagata, K., Takasuga, S. and Yamada, T. (2020) Trained innate lymphoid cells in allergic diseases. *Allergol. Int.*, Epub 2020 Dec 13.

## 原著論文

## A. 審査を経た論文

- 1) Somekh, I., Thian, M., Medgyesi, D., Gülez, N., Magg, T., Gallón, Duque, A., Stauber, T., Lev, A., Genel, F., Unal, E., Simon, A.J., Lee, Y.N., Kalinichenko, A., Dmytrus, J., Kraakman, M.J., Schiby, G., Rohlf, M., Jacobson, J.M., Özer, E., Akcal, Ö., Conca, R., Patiroglu, T., Karakukcu, M., Ozcan, A., Shahin, T., Appella, E., Tatematsu, M., Marti-

nez-Jaramillo, C., Chinn, I.K., Orange, J.S., Trujillo-Vargas, C.M., Franco, J.L., Hauck, F., Somech, R., Klein, C. and Boztug, K. (2020) CD137 deficiency causes immune dysregulation with predisposition to lymphomagenesis. *Blood*, **134**(18), 1510-1516.

## 報告書

- 1) 海老原敬 (2019) 「肺上皮細胞を介した2型自然リンパ球の数的制御機構」日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (B) 実施状況報告書
- 2) 高須賀俊輔 (2019) 「がん抑制遺伝子 INPP4B の抗がん機構の解明」日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 実施状況報告書
- 3) 立松 恵 (2020) 「好中球分化と小胞体恒常性維持機構の関連」日本学術振興会 海外特別研究員 最終報告書

Akita J Med 48 (Suppl) : 45~47, 2021

病態制御医学系

## 救急・集中治療医学講座

(旧救急医学)

教授	中永士師明
非常勤講師	加藤博之 (弘前大学医学部附属病院総合医学教育講座 教授)
	今明秀 (八戸市立市民病院 院長)
	佐藤誠 (北秋田市民病院 循環器科部長)
	鳥谷部 荘八 (仙台医療センター 形成外科科長)
	師井 淳太 (秋田県立循環器・脳脊髄センター第一脳神経外科診療部 部長)
准教授	奥山学
医員	入江康仁・北村俊晴
	佐藤佳澄
事務系補佐員	中志歩 (~4月)
	鈴木敦子 (5月~)

## 著書

- 1) 中永士師明 (2020) 毒蛇咬症. 永井良三 (編) 今日の診断指針第8版. 医学書院, 東京, pp. 540-541.
- 2) 入江康仁 (2020) 湿潤療法の考え方, 使い方. 中外医学社, 東京.

## 共著

- 1) 北村俊晴他 福島県立医科大学医学部 (2020) 地域・家庭医療学講座の多彩な取り組み—質の高いプライマリ・ヘルス・ケアの整備を目指して—. 公益財団法人 医療科学研究所 (監修) 地域医療の未来 地域包括ケアシステムと総合診療医の役割. 法研, 東京, pp. 87-117.

## 総説・解説

- 1) 中永士師明 (2020) Plasma filtration with di-

alysis (PDF) の原理と方法. 救急・集中治療  
32, 436-441.

## 原著論文

## A. 審査を経た論文

- 1) Nakae, H., Irie, Y., Satoh, K., Kitamura, T., Kameyama, K., Furuya, T., et al. (2020) Traumatic asphyxia successfully treated with jidabokuippo. *Traditional & Kampo Medicine*, **12**, 384.
- 2) Satoh, K., Okuyama, M., Irie, Y., Kitamura, T. and Nakae, H. (2020) A Case of Fatal Asthma : Rapid Transition to Cardiac Arrest and Rapid Recovery of Respiratory Status. *Cureus*, **12**(11), e11283.
- 3) Satoh, K., Okuyama, M., Furuya, T., Irie, Y. and Nakae, H. (2020) Severe sepsis caused by bacteria that entered via the intestinal tract : a case of Crohn's disease in a child. *Cureus*, **12**, e9822.
- 4) Nakae, H., Irie, Y., Satoh, K., Kameyama, K., Kitamura, T., Furuya, T. and Okuyama, M.

(2020) Traumatic asphyxia successfully treated with jidabokuippo. *Tradit. Kampo Med.*, 7, 183-185.

- 5) Sato, K., Kaga, H., Okuyama, M., Furuya, T., Irie, Y., Kameyama, K., Kitamura, T. and Nakae, H. (2020) A case of cardiac arrest due to a ruptured renal artery pseudoaneurysm, a complication of renal biopsy. *CEN. Case Reports*, <https://doi.org/10.1007/s13730-020-00535-0>.

## 学 会 発 表

### B. 国内会議

#### (a) 総会・年会

1. 第 25 回日本災害医学会総会学術集会, 2月, 神戸
  - 1) 奥山 学, 中永士師明 (2020) 災害医療に対する医学生の意識と教育
  - 2) 奥山 学, 山平大介, 中永士師明 (2020) 指揮・連絡・調整に重点を置いたブライント型消火避難訓練 (パネルディスカッション)
  - 3) 永井久子, 秋元悠里, 浅野李湖, 江頭晟良, 谷岡友則, 日置 梓, 毛呂貴宏 (秋田大学医学部医学科 4 年), 奥山 学, 中永士師明 (2020) 秋田大学医学部附属病院災害対策訓練における学生ボランティア本部の活動報告
2. 第 47 回日本集中治療医学会学術集会, 3月, Web
  - 1) 奥山 学, 佐藤佳澄, 入江康仁, 古屋智規, 中永士師明 (2020) 集中治療医には終末期医療に関する各種ガイドラインとその理念の理解が求められる (シンポジウム)
  - 2) 大倉和貴, 高橋裕介, 畠山和利, 工藤光生, 佐藤博昭, 古屋智規, 奥山 学, 中永士師明, 島田洋一 (2020) 集中治療室入室患者における握力による四肢筋力低下のカットオフ値の検討
  - 3) 大倉和貴, 工藤光生, 佐藤博昭, 高橋裕介, 畠山和利, 古屋智規, 奥山 学, 中永士師明, 島田洋一 (2020) 集中治療室における離床プロトコルの安全性に関する検討
  - 4) 富田浩輝, 中永士師明, 古屋智規, 奥山 学 (2020) 骨格筋の柔軟性に対するベルト電極式骨格筋電気刺激法の効果
  - 5) 佐藤佳澄, 奥山 学, 古屋智規, 入江康仁,

中永士師明 (2020) TMA 疑い症例に対する continuous Plasma Exchange with Dialysis (cPED) 療法の導入

3. 第 46 回日本熱傷学会総会・学術集会, 9月, 大阪
  - 1) 入江康仁, 中永士師明, 古屋智規 (2020) 小児広範囲熱傷に対して保存的治療が可能であった 1 例
4. 第 56 回日本腹部救急医学会総会 (要望演題), 10月, Web
  - 1) 古屋智規, 中永士師明, 奥山 学, 入江康仁, 佐藤佳澄 (2020) 症急性肺炎診療の変遷 ガイドライン改訂に向けて
5. 第 41 回日本アフェレシス学会学術大会, 10月, 千葉
  - 1) 佐藤佳澄, 奥山 学, 古屋智規, 入江康仁, 亀山孔明, 北村俊晴, 中永士師明 (2020) 血栓性微小血管症に対する continuous Plasma Exchange with Dialysis (cPED) 療法の早期開始 (シンポジウム)
  - 2) 花房規夫男, 平川晋也, 石森 勇, 伊藤孝史, 岩本ひとみ, 草生真規雄, 中永士師明, 王子聡, 大久保淳, 太田秀一, 佐藤元美, 清島真理子, 和田篤志, 横山陽子, 山路 健, 松尾秀徳 (2020) 日本アフェレシスレジストリ: デザインと中間報告 (特別企画)
  - 3) 三浦亜矢子, 富澤 学, 古屋智規, 中永士師明 (2020) POEMS 症候群に対して continuous plasma exchange with dialysis (cPED) を施行した 1 例
6. 第 48 回日本救急医学会総会・学術集会, 11月, 岐阜
  - 1) 中永士師明 (2020) 救急領域における漢方治療の応用 (ランチオンセミナー)
  - 2) 長江美代子, 中永士師明, 米山美奈子, 片岡笑美子, Mead, A., Zeger, W., Nguyen, T. (2020) 救命救急における性暴力・DV・虐待対応の重要性と性暴力被害者支援看護師 (SANE) の活動
  - 3) 亀山孔明, 入江康仁, 奈良 佑, 佐藤佳澄, 北村俊晴, 古屋智規, 奥山 学, 中永士師明 (2020) 比較的長期の ECMO 管理が奏功した A 型インフルエンザ肺炎を契機とした ARDS の一例
  - 4) 入江康仁, 奈良 佑, 佐藤佳澄, 亀山孔明,

北村俊晴, 古屋智規, 奥山 学, 中永士師明  
(2020) 終末期に面会制限で会えない患者と  
の Zoom® を使用した看取りの一例

(c) 研究会

(ii) 地方規模

1. 第 33 回東北救急医学会総会・学術集会, 6 月,  
オンライン
- 1) 奥山 学, 佐藤佳澄, 入江康仁, 古屋智規,  
中永士師明 (2020) 秋田県の今後の救急医療  
体制を考える (シンポジウム)

講 演

1. スキルアップ塾～漢方編～, 1 月, 京都
  - 1) 中永士師明 (2020) 急性期領域に役立つ漢方  
薬
2. 新型コロナウイルス感染症に関する研修会, 5  
月, 秋田市

- 1) 中永士師明 (2020) COVID-19 急性呼吸不全  
への ECMO 対策

3. CHUGAI Medical Web Seminar, 7 月, 秋田市

- 1) 中永士師明 (2020) COVID-19 急性呼吸不全  
対策について

4. 秋田県議会議員との懇親会について, 11 月, 秋  
田市

- 1) 中永士師明 (2020) 秋田大学医学部附属病院  
高度救命救急センター化に向けた取り組みに  
ついて

5. 日本血液製剤機構 機構内勉強会, 11 月, 秋田  
市

- 1) 中永士師明 (2020) 救急領域における DIC  
とその治療

6. 第 14 回レジデント・スキルアップキャンプ,  
11 月, オンライン

- 1) 奥山 学 (2020) 特別講演「COVID19 に対  
する救急集中治療の対応」